

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人

佐倉市社会福祉協議会

目 次

総括	1
1 社会福祉事業	
(1) 法人運営	
ア 組織の運営	4
イ 組織体制基盤の強化	8
ウ 福祉功労者表彰	9
エ 会員募集	11
オ 災害時対応	12
(2) 地域福祉ネットワーク	
ア 佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定	13
イ 地区社会福祉協議会活動の推進	17
ウ 地域包括支援センターとの連携	20
エ 団体活動支援・連携	22
オ さくらあったか食堂ネットワーク	26
カ 元気高齢者の活躍サポート事業	27
(3) ボランティアセンター	
ア ボランティア活動の普及・推進	28
イ 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援	31
ウ 福祉教育推進事業	32
(4) 企画広報	
ア 広報啓発事業	33
(5) 善意銀行	
ア 金銭、物品の預託、払い出し	34
イ 小口貸付事業	34
ウ フードドライブへの協力	34
(6) 在宅福祉	
ア ふれあい・いきいきサロン事業	35
イ ふれあい型食事サービス事業	35
ウ おもちゃ図書館	35
エ 車イス貸出事業	36
オ 菊地久治奨学福祉事業	37
カ 法人後見事業	39
キ 移動サービス事業	41
ク 生活困窮世帯子ども支援事業	43
ケ 終末ケア・終活支援事業	43

(7) 福祉総合相談事業	4 4
(8) 受託事業	
ア 声の広報等発行事業	4 6
イ 障害について学ぶ市民講座	4 6
ウ 生活福祉資金貸付事業	4 7
エ 日常生活自立支援事業	4 8
オ 成年後見支援センター	5 0
カ 生活困窮者自立支援事業	5 2
キ 介護人材確保対策事業	5 7
ク 高齢者見守り事業	5 9
(9) 基金	
ア 福祉基金	6 1
イ 菊地久治勉学奨励基金	6 1
ウ 元気に育て子ども基金	6 1
エ 稲垣成こ勉学奨励基金	6 1
(10) 共同募金配分事業	
ア 歳末たすけあい運動	6 2
イ 児童福祉事業	6 3
(11) 共同募金事業への協力	6 4
(12) 居宅介護	
ア 障害福祉サービス事業	6 5
イ 訪問介護員派遣事業	6 5
ウ 相談支援事業	6 6
(13) 介護保険	
ア 訪問介護事業	6 7
イ 居宅介護支援事業	6 9
2 公益事業	
(1) 指定管理事業	
ア 西部地域福祉センターの管理運営	7 1
3 収益事業	
(1) 福祉売店の経営	7 5
(2) 手数料の収入	7 5
○ 役員・評議員名簿	7 7

令和2年度事業報告（総括）

令和2年度は、一年間を通じて新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、これまでの生活様式が様々な部分で変化を求められました。それは我々社会福祉協議会が行う地域福祉推進の分野にも大きく影響し、市社協の各事業の実施においては、大きな見直しや新たな取り組みの開発が必要となりました。地区社協やボランティア活動では、サロン活動や各種イベント、規模の大きい会議・研修等の中止が相次ぎ、従来の”顔の見える関係”を基調とした活動が停滞を余儀なくされました。しかし、先が見えない状況下でも、電話や手紙による見守りやリモート会議の実施など、集まらなくてもつなぐ活動が随所で実践され始めました。「コロナ禍だからこそ」という発想の転換が新たなステージへの道標となりつつあります。

こうした中、感染拡大防止対策としては、「社協活動から感染者を出さない」という目標を掲げ、各事業や地域活動の中止や実施方法の見直しと併せて、職員の勤務環境の整備や職場内の衛生管理、個別支援や相談援助業務における感染防止対策などを徹底して行いました。また、理事会・評議員会でも書面決議やリモート会議を導入するなど、法人全体として万全を期して臨み、年度末までに職員や関係者からの感染は発生していません。

また、社協の新たな業務として、生活福祉資金貸付事業に、コロナ禍での失業や減収により生活に困窮した方を対象とする「緊急小口資金等特例貸付（コロナ特例貸付）」が創設され、市町村社協がその最前線窓口として相談・申請等の支援を行いました。例年の10倍を超える貸付件数に対応し、生活困窮者自立支援事業や善意銀行、生活困窮世帯子ども支援事業などと連動させながら、社協ならではの役割を果たして参りました。

しかし、コロナ禍による収入面での影響は大きく、収益事業として長年にわたり大きな活動財源を生み出してきた「さくら斎場福祉売店」の収益が大幅に減少し、さらに葬儀の簡素化で今後も赤字運営が見込まれることから、今年度末での事業終了を決断しました。他の事業収入も軒並み減収となり、今後の法人運営に向けた財源確保策の検討が急務となりました。そうした中で、会費収入は自治会等の皆様に多大なるご協力をいただき、対前年度比約98%と減収幅を最小限に留めました。改めて社協活動への期待感を感じるところとなりました。

コロナ禍の“新しい日常”は、様々な苦難や停滞を生み出しますが、同時に新たな挑戦や改革に着手し、前進するチャンスであると捉えています。この一年間で学び、考え、実践してきたことを、しっかりと今後の社協活動に、そして地域福祉の未来につなげて行きたいと思っております。

【重点実施事項】

1. 第5次佐倉市地域福祉活動計画（ともに歩むふくしプランⅢ）の完結と 第6次佐倉市地域福祉活動計画の策定

コロナ禍で地域福祉活動が大きく制限される中、ともに歩むふくしプランⅢは集大成となる最終年を迎え、目標達成の取り組みと併せて、次期計画策定に向けた成果と課題の分析を行いました。

「支えあい活動」の分野では、すべての地区社協で地域性に即した手法により様々な活動が展開されました。とくに「支えあいサービス」や「移動支援サービス」は12地区で実践されました。これらの個別支援サービスでは、対応するニーズが多様化してきたことで、関係機関との連携や活動の担い手を増やすことの必要性が浮かび上がりました。

「災害時要援護者支援」の分野では、地域での支援体制を整備していく上で市社協、地区社協、民児協、自治会等のそれぞれの役割を明確にし、団体間の連携体制を構築していくことが今後の課題となりました。

「生活困窮者支援」の分野では、子ども食堂・地域食堂や学習支援ボランティア活動が、孤立を防ぐ取り組みとしてボランティアグループや地区社協で盛んに行われました。活動を通じて、個別課題の解決に地域がどのように関わっていけばよいかを模索し続け、今後は地域住民の理解や個人情報扱い方、関係機関や専門職との連携などが課題としてあげられました。

さらに、いずれの分野でもコロナ禍でどのように活動を継続させていくか、大きな宿題を次年度に引き継ぐこととなりました。感染を防止しつつも、孤立を防ぎ、つながりを絶やさない活動の在り方とは何か、先進的な事例も踏まえて研究・開発していくことが重要であると考えます。

こうした成果や課題を踏まえて、第6次佐倉市地域福祉活動計画（ともに歩むふくしプラン4）の策定に取り組み、関係各位の協力を得て完成しました。令和5年度までの3カ年にわたるプラン4では、プランⅢで残された課題への取り組みと併せて「地域福祉コーディネーター」のモデル設置を大きな柱としました。この設置は、これまで築き上げた“地域福祉ネットワーク”をさらに活性化させるものであり、地域福祉の未来を見据えた新たな挑戦です。

地域福祉コーディネーターの役割は、地域福祉活動をサポートする「地域支援」、個別課題を解決に導く「個別支援」、地域の課題解決に地域住民が主体的に取り組むための“気づき”の促進や新たな担い手の参加を促す「課題の共有と参加支援」の3つの支援による“地域づくり”です。プラン4をより効果的に実践する推進役であるとともに、“福祉で地域づくり”をする先導役として位置づけました。モデル圏域を定めて設置し、令和3年度からの3年間で成果を検証して、4年後には市内すべての圏域への設置を目標とします。

2. 成年後見制度の利用促進を中心とした包括的な権利擁護体制の整備と地域連携ネットワークの構築

権利擁護部門は、班からグループへの組織改編や人員増強などによる体制面での強化を図り、実施する3事業（日常生活自立支援事業・法人後見事業・成年後見支援センター事業）を連動させた包括的な支援に注力しました。

また、市受託事業の「成年後見支援センター」が中核機関に位置付けられたことにより、「受任調整会議」や「中核機関運営会議」の開催で、より精度の高い受任候補者調整や効果的な中核機関運営を実現しました。さらに「地域連携ネットワークづくりのための研修会」を開催し、福祉関係者に成年後見制度の正しい理解を促すとともに、制度利用が必要な市民の早期発見を目指し、関係機関とのより強い連携を構築することを目的に取り組みました。

成年後見制度利用を促進する上で重要となる成年後見人の受け皿確保にも力を入れました。市民後見人養成講座の修了者を中心に組織された「NPO 法人佐倉市民後見人協会」の法人後見実施や、本会との複数受任であった「市民後見人」の単独受任に向けた支援・調整を行い、制度利用の環境づくりを行いました。

3. 佐倉市社会福祉協議会の存在価値を高め、かつ財源を確保するための新たな事業の研究

「社会福祉施設協議会」や「社会福祉法人の未来をつくる協議会」で事務局を務める本会は、市内福祉施設共通の課題である介護人材の確保を目的に、外国人介護人材の活用に向けた技能実習生受入の「監理団体」実施の可能性について調査研究を行いました。結果としては、市内における外国人介護人材の需要と供給のバランスや費用対効果の問題などに加え、最大の要因として、終息が見えないコロナ禍で外国人の受け入れそのものが困難になったことにより、実施に向けた研究を中断せざるを得ませんでした。

今後も引き続き、社会福祉協議会らしさを発揮しつつ財源確保につながる取り組みを研究して参ります。

以下、本年度の各事業の概要を報告します。

1 社会福祉事業

(1) 法人運営

ア 組織の運営

- ・市町村社会福祉協議会の法的根拠と社会福祉事業について

市町村社会福祉協議会は、社会福祉法第109条(昭和26年3月29日法律第45号)に規定された社会福祉法人です。この法律は、社会福祉を目的とする事業の全分野における共通的基本事項を定め、社会福祉を目的とする他の法律と相まって、福祉サービスの利用者の利益の保護及び地域における社会福祉(「地域福祉」という。)の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明かつ適正な実施の確保及び社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的としたものです(法第1条)。

- ・市町村社会福祉協議会の事業(法第109条抜粋)

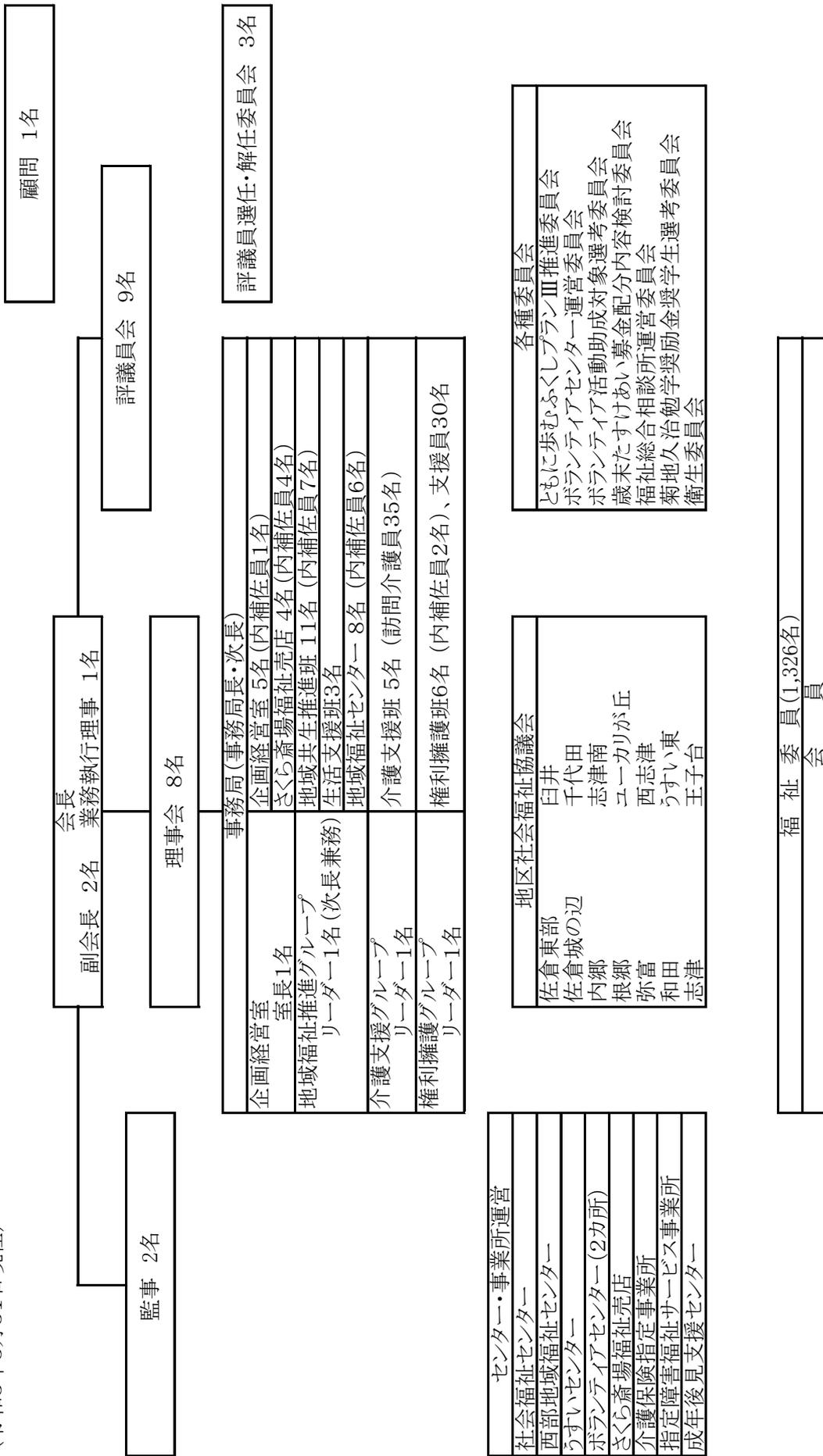
- ①社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ②社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- ③社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- ④前3号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業



佐倉市社会福祉協議会マスコットキャラクター

“ふうりっぴ”

・社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会の組織
(令和3年3月31日現在)



(ア) 理事会の開催

回数	開催日時	会場	出席者	上程議案
第1回	6月12日(水) 午後1時30分～	2階会議室	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告の承認 ・令和元年度資金収支決算の承認 ・評議員・理事・監事選任規程の一部改正 ・定時評議員会の招集
書面同意			8名同意	・さくら斎場福祉売店事業終了の承認
第2回	11月13日(金) 午後1時30分～	2階会議室	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度被表彰者の選定 ・経理規程の一部改正
第3回	2月15日(月) 午後1時30分～	Zoomによる リモート参加 と会場参集 の併用会議 (2階会議 室)	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則の一部改正 ・管理職職員の任免 ・ともに歩むふくしプラン4案の協議
第4回	3月12日(金) 午後1時30分～	Zoomによる リモート参加 と会場参集 の併用会議 (2階会議 室)	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の変更 ・福祉売店の設置及び運営に関する規定の廃止 ・令和3年度事業計画の承認 ・令和3年度資金収支予算の承認 ・令和2年度資金収支補正予算の承認 ・ともに歩むふくしプラン4の承認 ・ともに歩むふくしプラン4推進委員会設置規程の制定 ・事務局規程の一部改正 ・菊地久治勉学奨励金設置及び運営規程の一部改正 ・令和3年度役員等賠償責任保険の契約 ・契約の締結 ・評議員会の招集

(イ) 評議員会の開催

回数	開催日時	会場	出席者	上程議案
第1回 (定時)	6月29日(月) 午前9時30分～	2階会議室	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度資金収支決算の承認 ・令和元年度事業報告
第2回	3月26日(金) 午後1時30分～	Zoomによる リモート参加 と会場参集 の併用会議 (2階会議 室)	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら斎場福祉売店事業終了の承認 ・定款の変更 ・令和3年度事業計画の承認 ・令和3年度資金収支予算の承認 ・令和2年度資金収支補正予算の承認 ・ともに歩むふくしプラン4の承認 ・役員及び評議員の報酬等の支給基準の承認

(ウ) 監事による監査(定款第22条に基づく)

実施日	会場	内容
書面監査		令和元年度事業報告、決算

(エ) 内部会計監査(経理規程第72条に基づく)

実施日	会場	内 容
8月5日(水)	2階会議室	令和元年度1月～3月分及び2年度4月～6月分会計処理状況
10月20日(火)	2階会議室	令和2年度7月～9月分会計処理状況

(オ) 法人指導監査(社会福祉法第56条に基づく 所轄庁:佐倉市)

実施日	会場	内 容
11月24日(火)	2階会議室	前回監査以降、令和2年度監査実施日までの法人運営及び会計処理

イ 組織体制基盤の強化

(ア) 職員研修

外部研修

開催日	内容	参加者	会場
9月11日～12日	成年後見制度活用講座	3	DC会館
9月28日	重層的支援体制勉強会	2	佐倉市役所
11月9日	安全運転管理者法定講習	1	四街道市文化会館
2月2日	近年の制度変化や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた災害支援のあり方について	5	リモート研修
3月15日	専門員実力強化研修Ⅱ	1	ライブ配信
3月19日	権利擁護支援従事者研修	2	
3月24日	障害のある子供も、佐倉に住み、学び、生活できる街	1	志津コミュニティセンター

(イ) 衛生委員会

実施日	会場	出席者	内容
7月9日(木) 午後1時30分～	会長室	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・職員定期健康診断について ・職員執務場所等の状況確認について ・ストレスチェックの実施について ・職員健康相談、面接の実施について
2月18日(木) 午後1時30分～	会長室	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度職場巡視の総括について ・職員執務場所等の状況確認について ・職員定期健康診断結果、ストレスチェックの実施結果について ・次年度の衛生業務計画について

(ウ) 産業医衛生業務

実施日	業務内容
4月 9日(木)午後1時30分～	令和2年度業務打ち合わせ、社会福祉センター執務場所等の状況確認
5月14日(木)午後1時30分～	西部地域福祉センター執務場所等の状況確認、職員健康相談、面接
6月11日(木)午後1時30分～	さくら斎場福祉売店執務場所等の状況確認、職員健康相談、面接
8月20日(木)午後1時30分～	職員健康相談、面接(事務局)
9月10日(木)午後1時30分～	職員健康相談、面接(西部地域福祉センター)
10月 8日(水)午後1時30分～	職員健康相談、面接(福祉売店)
11月12日(木)午後1時30分～	職員健康相談、面接(事務局)
12月10日(木)午後1時30分～	職員健康相談、面接(管理職面接)
1月14日(木)午後1時30分～	職員健康相談、面接(管理職面接)
3月11日(木)午後1時30分～	職員健康相談、面接(事務局)

ウ 福祉功労者表彰

(ア) 福祉功労者表彰

日 時	コロナウィルス感染拡大の状況を鑑み福祉功労者表彰式は中止
会 場	
被表彰者	115個人・団体
内 容	社会福祉の発展に功労のあった方々を表彰するとともに、これからの地域福祉のあり方や本会が果たすべき役割の整理と活動の強化につなげることを目的して実施した。

a 特別功労賞(会長表彰後10年以上)《23名》

赤地恵美子、浅野訓子、稲村多恵子、梅田美知子、榎澤優子、小玉克哉、佐藤ふみ子、清水賢二、鈴木チエ、須藤千恵子、宗成子、高椋雅子、田口和彦、田中勝美、鳥塚徹、永瀬博子、中村徳一、中村道子、長谷川年男、藤澤奎二、森田実、山本春雄、米本敏子

(敬称略)

b 会長表彰

・役員・評議員・委員(8年以上)《39名》

荒井良昭、荒木和代、石川裕一、岩井功、恵下拓、小川弘志、小川將敏、奥山裕子、奥山安朝、小原恵子、片山喜久子、勝田治子、菊池初江、小金裕子、澤田博、篠原邦仁、柴原幸子、関野孝男、高橋利式、高橋正昭、田中賢治、田中洋彦、爲田浩、鱸居常行、波多野祐義、秦野隆治、花島志郎、廣田正子、藤崎言行、藤原恵子、増澤秀典、松本憲子、丸山浩子、村本正志、山田佳子、横山幹雄、米村隆、レドモンド梯子、和田裕子

(敬称略)

c 会長感謝状

(a) 多額寄付者

〔個人〕(3万円以上)《8名》

市原史、小林茂、立石光夫、波多野稔夫、早坂光恵、松澤千代、宮本聖也、山本喜代光

(敬称略)

〔団体〕(10万円以上)《8団体》

佐倉商工会議所女性会、佐倉中央ロータリークラブ、佐倉むらさきライオンズクラブ、千葉東部読売会 佐倉ブロック、株式会社ディーシーエム、ては〜とホールディングス株式会社、明治安田生命保険相互会社 佐倉南営業所、山万グループ※
※山万グループは6社連名 ※山万(株)、ワイエム総合サービス(株) 山万ウイシュトンホテル(株) 光陽(株)、(株)ユーカリファーム (福)ユーカリ優都会

(敬称略)

(b) 福祉活動功績者

〔個人〕《9名》

岩井好美、柏崎道子、小岩武夫、小林美子、佐野時江、新保智義、杉山一也、船田清、山田久

(敬称略)

〔団体〕《13団体》

あすなろ22、イルカの会、うぐいす坂グループ、加賀清水22期会、元気塾、元気シルバー応援隊、子育て支援ボランティア隊、チーム・コピット、(特非)佐倉一里塚、296アイ・アイ会、ねっこの会、防犯パトロール王六会、笑いヨガ・ミュージック

(敬称略)

(c) 特別会員

〔個人〕(10年以上)《2名》

池澤利一、小林眞智子

〔個人〕(20年以上)《1名》

相田英子

(敬称略)

〔個人〕(30年以上)《1名》

菅田平昭

(敬称略)

〔団体〕(10年以上)《6団体》

(医)池医院、(福)恵泉福社会、なの花交通バス(株)、長谷川木材(株)、古河ユニック(株)佐倉工場、(医)緑泉会 臼井にしざわクリニック

(敬称略)

〔団体〕(20年以上)《2団体》

(株)広域高速ネット二九六、(株)輪奏電気

〔団体〕(30年以上)《3団体》

(株)小川園、(株)佐倉クレーン学校、デンカポリマー(株)佐倉工場

(敬称略)

(イ) 千葉県社会福祉大会

日 時	千葉県社会福祉大会(中止)
会 場	
主 催	千葉県 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会 社会福祉法人千葉県共同募金会

a 千葉県社会福祉協議会会長表彰

○民生委員・児童委員功労者《22名》

石橋美代子、泉宏子、伊藤泰彦、榎澤優子、蛭原清、小山田秀男、川崎恵子、黒木實、小出千恵子、坂口しお、新谷俊文、鈴木寛博、関山和代、田宮均、内藤寛子、新美謙二、長谷川稔、堀川清美、松本博子、安本秀明、山片立子、若林由子

(敬称略)

○社会福祉施設・団体関係役員功労者《6名》

麻生知明、飯嶋三佐子、石井孝子、猪間美晴、小山田哲子、義岡美子

(敬称略)

b 千葉県共同募金会会長表彰

○共同募金奉仕功労者 感謝《2名》

猪野美智子、山下等

(敬称略)

c 共同募金優良地区・団体《6団体》

稲荷山町内会、鏑木町第一町内会、手話ダンス虹、志津南地区社会福祉協議会、西志津地区社会福祉協議会、根郷地区社会福祉協議会

(敬称略)

(ウ) 全国社会福祉大会

a 全国社会福祉協議会会長表彰

○民生委員・児童委員功労《1名》

小林眞智子

(敬称略)

b 中央共同募金会会長表彰

○奉仕功労者《3名》

糸井文子、豊田一、廣地富夫 (※广に黄)

(敬称略)

エ 会員募集

実施内容

会員制度は、組織の根幹をなすものであり、会員が納入する会費は社協活動の貴重な自主財源である。緊急事態宣言の影響もあり説明会を開催することができなかったが、各自治会へ資料を送付した。問い合わせには詳しい説明をして、理解を求めた。

(ア) 会員数および会費収入金額

会員区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般会費	37,132世帯	37,697世帯	38,643世帯
	18,566,119円	18,848,418円	19,321,584円
賛助会費	55人	62人	60人
	56,000円	62,000円	65,000円
特別会費（個人）	114人	144人	155人
	272,000円	362,000円	364,000円
特別会費（団体）	96団体	98団体	107団体
	970,000円	1,030,000円	1,120,000円
合計	37,397組	38,001組	38,965組
	19,864,119円	20,302,418円	20,870,584円

(イ) 自治会・町会・区代表者への社協説明会

期 日	地 区	会 場
	佐倉・内郷地区	中止
	根郷・和田・弥富地区	中止
	志津地区	中止
	臼井・千代田地区	中止

(ウ) 法人会員募集の強化

法人会員拡大をめざし、各団体への説明、資料送付等を行い会員募集の強化を図った。法人運営の財源基盤の拡充に向けて今後も強化を図っていく。

オ 災害時対応

実施内容

令和元年度に立ち上げた「佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク」を軸とした、佐倉市民のネットワークを広げていこうと準備したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、講座、訓練は自粛(中止)となった。反面、コロナ禍での災害ボランティアセンター運営についての研修、準備に努めた一年となった。

(1) 災害ボランティアセンター研修

主催	千葉県内市町村社会福祉協議会事務局長会
開催日時	令和3年2月2日(火)14時から16時20分
開催方法	Zoomウェビナーによる講義受講
テーマ	近年の制度変化や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた災害支援のあり方について
講師	特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李仁鉄 氏
参加	事務局職員5名

令和2年度ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会(兼 令和2年度ボランティアコーディネーター研修会【災害編】)

主催	千葉県 千葉県社会福祉協議会
開催日時	令和3年2月25日(木)14時～16時45分
開催方法	Zoomによるリモート講義 市町村ごとのグループワーク
テーマ	講演:災害時のニーズ変化と多様な支援の可能性 ワーク:災害発生後に起きる想定課題を各市町村関係者で協議
講師	特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李仁鉄 氏

(2) 災害時協力協定の締結準備

佐倉市災害ボランティアセンターネットワーク構成団体の「公益社団法人佐倉青年会議所」様と、災害時の応援協定締結について協議。令和3年中の締結に向けて調整した。

(3) 佐倉市との協議

佐倉市危機管理室と、コロナ禍における災害ボランティアセンター設置・運営について協議。避難所が従来の準備では対応できないことが示され、新たなニーズが生まれることが見込まれるので、今後も連携、情報交換をしていくことを確認。この情報共有のために、随時連絡を取り合った。

(2)地域福祉ネットワーク

実施内容

ともに歩むふくしプランⅢの推進を通じて地域福祉の充実を図った。また、ともに歩むふくしプラン4の策定に取り組み完成した。

ア 佐倉市地域福祉活動計画の推進・策定

(ア)市・社協事務局連絡会議

回数	開催日	会場	内容
1	4月13日(月)	2階会議室	①両計画の状況について ②地域福祉フォーラムについて ③地域共生社会の実現に向けて
	5月		新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言中に付中止
2	6月1日(月)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②地区社会福祉協議会の活動について ③両計画の状況について ④地域福祉活動ボランティア人数について
3	7月7日(火)	2階会議室	①事務局連絡会議について ②地域福祉フォーラムについて ③地域福祉コーディネーターについて ④両計画の状況について ⑤地域福祉活動ボランティア人数について
4	8月7日(火)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②地域福祉コーディネーターについて ③両計画の状況について ④地域福祉活動ボランティア人数について
5	9月1日(火)	2階会議室	①民児協・地区社協・自治会の連携などについて ②地域福祉フォーラムについて ③地域福祉コーディネーターについて ④両計画の状況について ⑤地域福祉活動ボランティア人数について
6	10月6日(火)	2階会議室	①避難行動要支援者名簿に関する情報共有について ②地域福祉フォーラムについて ③両計画の状況について
7	11月5日(木)	2階会議室	①前回振り返り ②地域福祉フォーラムについて ③両計画の状況について
8	12月3日(木)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
9	1月12日(火)	2階会議室	①地域福祉フォーラムについて ②両計画の状況について
	2月		新型コロナウイルス蔓延による緊急事態宣言中に付中止
10	3月23日(火)	2階会議室	①市からの定期回覧物について ②地域福祉フォーラムについて ③両計画の状況について

(イ)ともに歩むふくしプラン推進委員会

回数	開催日	会 場	内 容
1	10月21日(金)	Web及び 会長室・会議室	①令和元年度第3回推進委員会報告 ②令和2年度佐倉市社会福祉協議会重点目標進捗状況評価表について ③各圏域ネットワーク会議報告 ④中間評価について ⑤第6次佐倉市地域福祉活動計画の素案について ⑥第6次佐倉市地域福祉活動計画名称について
2	2月3日(水)	Web及び 会長室・会議室	①令和2年度第1回推進委員会報告 ②第6次佐倉市地域福祉活動計画の素案について

(ウ)ともに歩むふくしプランⅢプロジェクト会議(メンバー11名)

回数	開催日	会 場	内 容
1	4月1日(水)	会長室	①連携の視点を入れたフォーマットについて ②作成手順について ③手順書 4月からの評価表 アンケートについて ④社協評価表について
2	4月17日(金)	会長室	①連携の視点を入れたフォーマットについて ②今年度の評価表について ③策定スケジュールの変更について
3	5月13日(水)	会長室	①理念と目標の確認について
4	5月27日(水)	会長室	①地域共生社会推進検討会の最終とりまとめについて ②6次計画具体的取り組み(案)について
5	6月10日(水)	会長室	①6次計画の「具体的取り組み」案について ②第6次地区社協計画策定スケジュールについて(案)
6	6月24日(水)	会長室	①6次計画の「具体的取り組み」案について ②令和2年度の確認ポイントについて
7	7月8日(水)	会長室	①6次計画の「具体的取り組み」案について ②6次計画の「展望」について ③2年度の確認ポイントについて
8	7月21日(火)	会長室	①6次計画の「具体的取り組み」案について ②6次計画の「展望」について ③6次計画の章立てについて
9	8月5日(水)	会長室	①6次計画の「具体的取り組み」案について(生活困窮) ②6次計画の「展望」について ③6次計画の章立てについて ④ネットワーク会議の内容について

10	8月19日(水)	会長室	①6次計画の章立てについて ②ネットワーク会議・推進委員会について ③事務局間会議について ④フォーラムの時期について
11	9月2日(水)	会長室	①6次計画の章立てについて ②ネットワーク会議、第2回推進委員会の進め方について
12	9月16日(水)	会長室	①6次計画の章立てについて ②ネットワーク会議準備について ③6次計画の骨子案説明について
13	10月2日(金)	会長室	①6次計画の章立てについて ②推進委員会準備について ③ネットワーク会議(書面)で挙がってきた意見について
14	10月7日(水)	会長室	①6次計画の章立てについて
15	10月13日(火)	会長室	①6次計画の章立てについて ②推進委員会の内容と役割について
16	10月28日(水)	会長室	①推進委員会の振り返り ②プラン4の修正について ・行政との関係 ・地域福祉コーディネーターの動きがわかる図 ・5章地区社協の表記について ・ともに歩むふくしプラン4の表記について ・相談できる地域づくりのイメージについて ③今後の予定
17	11月11日(水)	会長室	①プラン4の修正について ・5章地区社協の内容について ・ともに歩むふくしプラン4の表記について ・社会福祉課からもらった所感について
18	11月25日(水)	会長室	①プラン4の修正について ・5章地区社協の内容について・並べる順番について ・その他前回の修正点の修正について (第1次計画からの変遷・3層構造・関係性の図考え方) ・市との関係図・6章のコーディネーターのわかる図・4章の図について ・冊子の表紙・前書きについて ・社会福祉課からもらった所感について
19	12月9日(水)	会長室	①コラムについて ・載せ方について ・校正について ②5章 小コラム内容について ③参考資料について
20	12月23日(水)	会長室	①校正について ・プランの今までについて ②全体について
21	1月13日(水)	会長室	①プラン4冊子の校正について ②日常生活圏域ネットワーク会議について ③令和2年度評価について

22	1月20日(水)	会長室	①プラン4 冊子の校正について ②令和2年度評価について
23	1月27日(水)	会長室	①推進委員会について
24	2月10日(水)	会長室	①推進委員会の反省 ②修正点の確認 ③今後のスケジュールについて
25	3月3日(水)	会長室	①パブリックコメントの状況について ②推進委員会委員の選出について
26	3月17日(水)	会長室	①地区社協今年度の評価表について ②市社協今年度の評価表について ③推進委員会委員の選定について
27	3月31日(水)	会長室	①地区社協今年度の評価表について ②市社協今年度の評価表について

(エ) 圏域ネットワーク会議

圏域	開催日	内容
南部	9月	新型コロナウイルス感染予防のため書面開催
臼井・千代田	10月	新型コロナウイルス感染予防のため書面開催
佐倉	11月	新型コロナウイルス感染予防のため書面開催
志津北部 志津南部	12月	新型コロナウイルス感染予防のため書面開催

イ 地区社会福祉協議会活動の推進

実施内容

地区社会福祉協議会の活動の推進を図り、住民参加と協働によるコミュニティ活動の促進を行った。Zoomを使った地区社協会長会議で、コロナ禍での地区社協活動について情報交換し、各地区の活動へ繋げた。

(ア) 地区社協会長一覧

NO	地区社協名	氏名
1	佐倉東部	真部 武美
2	佐倉城の辺	川上 三郎
3	内郷	大谷 吾朗
4	根郷	内藤 寛子
5	弥富	池澤 利一
6	和田	小出 孝二
7	志津	横山 幹雄
8	臼井	八田 進
9	千代田	大蔵 文子
10	志津南	吉森 文男
11	ユーカリが丘	高崎 照夫
12	西志津	伊藤 泰彦
13	うすい東	森田 実
14	王子台	加藤 順一

(イ) 地区社協会長及び事務局長会議の開催

No.	開催日	会場	内容
1	7月15日(水)	西部地域福祉センター	第1回地区社協会長及び事務局長会議 <ul style="list-style-type: none"> “おじいちゃん・おばあちゃん”ありがとうの気持ちを伝えたい事業について 歳末たすけあい募金配分内容検討委員会委員の推薦について ともに歩むふくしプランⅢの推進及び次期計画の策定について 新型コロナウイルスの影響かにおける活動について
2	9月16日(水)	web会議(参集会場:2階会議室)	第2回地区社協会長会議 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響下における活動について 街頭募金運動に代わる募金活動への協力について ともに歩むふくしプランⅢの推進及び次期計画の策定について
3	1月13日(水)	web会議(参集会場:2階会議室)	第3回地区社協会長会議 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における今後の地域福祉活動について
4	2月19日(金)	web会議(参集会場:2階会議室)	第4回地区社協会長会議 <ul style="list-style-type: none"> ともに歩むふくしプラン4について コロナ禍における今後の活動について 令和3年度地区代表福祉委員の推薦依頼について 令和2年度地区社会福祉協議会決算報告について ともに歩むふくしプランⅢの推進及びプラン4の策定について 佐倉市高齢者見守り事業について

(ウ) 支えあいサービス実務者の集い(支えあいカフェ)の開催

※コロナウイルス感染予防・拡大防止のため開催を中止した

(エ) 移動支援連絡会の開催

※コロナウイルス感染予防・拡大防止のため開催を中止した

(オ) 地区社協別会議等の開催

No.	地区社協名	福祉委員会	役員会等	住民福祉懇談会		ひとり暮らし高齢者食事サービス		広報発行
				回数	人員	回数	人員	
1	佐倉東部	2回	12回	0回	0人	0回	0人	2回
2	佐倉城の辺	3回	12回	0回	0人	0回	0人	3回
3	内郷	2回	12回	0回	0人	0回	0人	3回
4	根郷	3回	16回	0回	0人	0回	0人	2回
5	弥富	2回	4回	0回	0人	2回	70人	3回
6	和田	2回	5回	0回	0人	1回	16人	2回
7	志津	3回	15回	0回	0人	0回	0人	2回
8	臼井	3回	7回	0回	0人	0回	0人	2回
9	千代田	2回	9回	1回	25人	0回	0人	3回
10	志津南	3回	11回	0回	0人	0回	0人	3回
11	ユーカーが丘	4回	25回	0回	0人	0回	0人	1回
12	西志津	4回	15回	0回	0人	0回	0人	1回
13	うすい東	3回	18回	0回	0人	0回	0人	1回
14	王子台	3回	16回	0回	0人	0回	0人	3回

※コロナウイルス感染予防、拡大防止のため活動を自粛した。また、福祉委員会・理事会については一部書面にて実施した。

(カ) 地区社協のおもな活動

1.高齢者福祉事業	ア. ひとり暮らし高齢者等を対象とした食事サービス、昼食会の実施
	イ. ひとり暮らし高齢者、ねたきり高齢者、障がい者を対象とした友愛訪問
	ウ. グランドゴルフ大会の開催
2.障がい者・児福祉事業	ア. 社会福祉施設への訪問
	イ. 障がい者・児への援助活動
	ウ. 障がい者・児とその家族との交流
3.児童・青少年福祉事業	ア. 児童・青少年健全育成活動
	イ. 各種スポーツ大会の開催
	ウ. 学習支援
	エ. 子育て支援事業
	オ. 世代間交流事業(昔あそび、ふれあい昼食会など)
	カ. 学校行事支援
	キ. こども食堂
4.地域福祉活動	ア. 地域別住民福祉懇談会、住民座談会、ボランティア懇談会・講座の開催
	イ. 生活改善、環境美化運動の推進
	ウ. 社会福祉協議会会員の募集
	エ. 地域行事への参加、援助、協力
	オ. 社会福祉団体の育成、援助
	カ. 社会福祉に関する調査、研究、PR活動
5.支えあい活動	ア. 支えあい活動の実施
	イ. 支えあいサービスの実施
	ウ. コミュニティ喫茶の実施
	エ. 買い物支援の実施
6.募金活動	ア. 共同募金運動への協力(共同募金事業の項参照)、赤い羽根・歳末たすけあい募金の街頭募金に協力
	イ. 「愛の箱」募金活動
7.研修事業	ア. 研修会、福祉講演会等の開催及び参加
8.広報活動	ア. 地区社協広報紙の発行(自治会・町内会等を通じ配布)
	イ. ホームページの開設(既設地区:佐倉東部、内郷、志津、臼井、千代田、ユウカリが丘、西志津、志津南、王子台、うすい東、根郷)
9.その他	ア. 福祉まつり・バザーの実施
	イ. いきいきサロン・100円喫茶の運営

ウ 地域包括支援センターとの連携(地域の輪)

実施内容

佐倉地域包括支援センターと連携し、主に佐倉地区民児協とも協議しながら、見守り支援体制づくりに向けて検討を重ねた。

ア 地域の輪会議

回数	開催日	会場	内容
1	6月16日(火)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *生活支援コーディネーター定期連絡会報告について *買い物支援について <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉城の辺地区 ・千成地区 *見守り支援ネットワーク作りについて *その他 <ul style="list-style-type: none"> ・各地域のサロン開催状況について
2	7月1日(水)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *見守り支援ネットワーク作りについて <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉地区民児協との懇談会の進め方について *報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区社協活動状況の報告 *その他 <ul style="list-style-type: none"> ・各地域のサロン開催状況について
3	8月3日(水)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *見守り支援ネットワーク作りについて <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉地区民児協との懇談会の進め方について *その他 <ul style="list-style-type: none"> ・各地域のサロン開催状況について
4	8月26日(水)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *佐倉地区民児協との懇談会(8月11日)の振り返り *千成ふれあいサービス進捗状況について *白銀地域ケア会議の進め方について *その他 <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉城の辺地区社協の買い物支援の経過 ・佐倉市委託の見守り事業について
5	9月24日(木)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *第2回佐倉地区民児協との懇談会(9/8)の振り返り *第3回佐倉地区民児協との懇談会に向けて *各地域の進捗状況について *佐倉市委託の見守り事業の進捗状況について *その他
6	10月20日(火)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *第3回佐倉地区民児協との懇談会に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・関係する事業、支援との整理 ・11月の内容について ・12月以降の進め方について
7	11月5日(木)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *第3回佐倉地区民児協との懇談会に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・12月以降の進め方の確認について *市委託の見守り事業推進状況について *その他
8	12月3日(水)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *マップの実際の作成手法と工程表について *第4回佐倉地区民児協との懇談会の進め方について *市委託の見守り事業進捗状況について *その他

9	12月23日(水)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *12/16 民児協阿部会長との打合せについて *チェックシートについて *その他 <ul style="list-style-type: none"> ・千成ふれあいサービス進捗状況について ・佐倉城の辺地区社協買い物支援について ・社協受託の見守りについて
10	1月22日(金)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *「防災対策確認票(案)」(チェックシート)について *今後の進め方について *その他 <ul style="list-style-type: none"> ・千成ふれあいサービス進捗状況について ・佐倉城の辺地区社協買い物支援について ・ヤックスの移動販売について
11	2月18日(木)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *見守り支援 今後の進め方について *その他 <ul style="list-style-type: none"> ・千成ふれあいサービスの進捗状況について ・佐倉城の辺地区社協買い物支援について ・ヤックス移動スーパーについて
12	3月18日(木)	佐倉地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> *見守り支援 今後の進め方について *令和3年度の地域の輪について *その他 <ul style="list-style-type: none"> ・千成ふれあいサービス進捗状況について ・佐倉城の辺地区社協買い物支援について ・白銀地区との関わりについて ・ヤックス移動スーパーについて

エ 団体活動支援・連携

実施内容

福祉団体の活動を支援・推進するため、佐倉市社会福祉施設協議会、佐倉市障がい者団体等連絡会並びに佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援をし、各団体、行政との連携を図った。

(ア) 佐倉市社会福祉施設協議会の運営協力と活動支援（定例会など）

No.	開催日	会場	内容
1	4月16日 (木)		就職フェア準備委員会 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り
2	4月23日 (木)		第1回定例会 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り (令和2年度事業計画・予算は書面により表決)
3	5月12日 (火)		第2回定例会 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り (令和元年度事業報告・決算は書面により表決)
4	6月30日 (火)	社会福祉センター 地下研修室	第3回定例会 議題 ・市長との懇談会に向けた提言内容について ・今年度事業の方向性について（就職フェア、研修等） ・災害時の連絡体制について ・第6次佐倉市障害者計画及び第6期佐倉市障害福祉計画策定懇話会委員の推薦について ・佐倉市障害者総合支援協議会委員の推薦について 連絡事項 ・令和2年度施設協会費納入のお願い ・佐倉市福祉功労者表彰対象者推薦のお願いについて ・令和2年度介護職員初任者研修について
5	7月4日 (土)		就職フェアin佐倉 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り
6	8月17日 (木)		・第4回定例会・市長との懇談会 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り
7	11月11日 (水)	ZOOMによるオンライン研修	・職員合同研修 テーマ：感染症対策や災害時を見据えたリスク管理について 講師：佐藤慎也氏（積水ホームテクノ株式会社） 参加人数：26名
8	1月12日 (火)		・第5回定例会 →新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催見送り
9	3月16日 (火)	ZOOMによるオンライン会議	第6回定例会 ・令和3年度事業計画・予算について ・高齢者施設におけるコロナワクチン先行実施について ・コロナウイルス感染防止対策について

(イ)佐倉市障がい者団体等連絡会の運営協力と活動支援(定例会)

No.	開催日	会場	内容
1	5月27日(水)	書面会議	<p>*第1回運営委員会 <書面表決事項> ①令和元年度事業報告について ②令和元年度決算報告について ③令和2年度役員(案)について ④令和2年度事業計画(案)について ⑤令和2年度予算(案)について</p>
2	7月31日(水)	西部地域福祉センター	<p>*第2回運営委員会 ・来賓あいさつ <報告事項> ①令和2年度佐倉市障がい者団体等連絡会 第1回運営委員会の書面表決について ②新型コロナ禍における行事・活動について <依頼・協議事項・懇談> ①第6次佐倉市障害者計画及び第6期佐倉市障害 福祉計画策定懇話会に係る委員の推薦について ②佐倉市障害者総合支援協議会委員の推薦について ③「住みやすいまちづくり点検会」の開催について ④「佐倉市障害福祉計画」について</p>
3	9月30日(水)	西部地域福祉センター	<p>*第3回運営委員会 <報告事項> ①第2回運営委員会 会議要録について <協議事項> ①「佐倉市障害者計画・障害福祉計画策定懇話会」の報告 及び次回懇話会に向けた意見交換について ②「まちのバリア点検会」について ③「ACミランアカデミー千葉」の障害者スポーツ活動について ④障害者スポーツの現況・課題等について情報・意見交換 ⑤今後の運営委員会開催会場の変更について</p>
4	11月25日(水)	社会福祉センター	<p>*第4回運営委員会 <協議事項> ①佐倉市ろう者協会から「咲(え)む」映画上映会の協力につい て ②「ACミランアカデミー千葉」の施設見学・懇談会報告につい て ③「まちのバリア点検会」の報告と市長への提言について ④「佐倉市障害者計画・障害福祉計画策定懇話会」の報告 及び次回懇話会に向けた意見交換について ⑤ともに歩むふくしプランⅢ推進委員会の報告について ⑥社協さくら(第202号)の原稿執筆について</p>
5	1月27日(水) <中止>	中止	<p>*第5回運営委員会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>
6	3月31日(水) <中止>	中止	<p>*第6回運営委員会 (※新型コロナウイルス感染防止のため中止)</p>

a. まちのバリア点検会ワーキンググループ

No.	開催日	会場	内容
1	4月3日	社会福祉センター	・コロナ禍の中、事業計画の見直し
2	6月17日	ギャラリー・リーベ	・第3回の点検会に向けて作業工程表作成
3	7月29日	西部地域福祉センター	・佐倉地区の地区社協に参加の呼びかけ、 ・チラシの配布、 ・「心のバリアフリー」について検討
4	10月14日	社会福祉センター	* 第3回点検会に向けて ・役割分担及び当日の次第確認 ・アンケートについて
5	11月4日	社会福祉センター	・第3回まちのバリア点検会振り返り
6	11月11日	社会福祉センター	・各班の写真選定など報告書作成準備等
7	11月25日	社会福祉センター	・佐倉市へ提言書を提出、 ・報告書編纂作業会 ・第4回点検会準備
8	12月2日	臼井西中学校 京成勝田台駅 京成ユーカリが丘駅	・臼井西中学校での福祉教育(まちのバリア点検会) 出前授業の打ち合わせと下見、 ・第4回の点検会に向けての各所あいさつ回り
9	12月15日	社会福祉センター	・第4回まちのバリア点検会準備とコロナ禍による活動検討 ・障害福祉課主催のポスター展展示パネル作成・編纂
10	3月30日	社会福祉センター	・第3回まち点検参加者へ報告書送付状況確認について ・令和2年度活動報告及び令和3年活動計画(案)について ・第4回まちのバリア点検会の実施検討 ・まちのバリア点検会にかかる市長への提言書回答内容の検討

b. 市民がつくる住みよいまちづくり点検

No.	開催日	会場	内容
1	10月18日	京成佐倉駅構内・周辺 ミレニアムセンター佐倉 佐倉市役所庁舎内	* 第3回まちのバリア点検会:参加者37名 ・オリエンテーション ・まちのバリア点検会 ①ミレニアムセンター②京成佐倉駅周辺 ③京成佐倉駅から市役所までの導線 ④佐倉市役所敷地内) ・ワークショップ
2	2月28日 <延期>	京成ユーカリが丘駅 構内・周辺、志津コミュニ ティセンター、イオン タウンユーカリが丘	新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

c. 市長との懇談会

No.	開催日	会場	内容
1	12月28日	佐倉市役所市長室	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのバリア点検実施経緯について ・第3回バリア点検会の概要説明 ・市長との懇談

d. 三役会

No.	開催日	会場	内容
1	3月10日	社会福祉センター	<p><協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第6回運営委員会の開催可否について ・令和2年度事業報告及び決算報告について ・令和3年度役員体制(案)について ・令和3年度事業計画(案)について ・令和3年度予算(案)について ・各団体からの本連絡会への次年度運営委員の推薦について <p><その他依頼事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市ろう者協会主催「咲む」映画上映会にかかる実行委員の選出依頼について ・千葉県中小企業家同友会主催「企業・保護者・学校による三者懇談会」の後援依頼について

(ウ)佐倉市社会福祉法人の未来をつくる協議会の運営協力と活動支援(定期総会等)

定期総会

回	日時/会場	内容
1	7月27日(月) 午前10時～	書面による表決
		令和2年度事業計画・予算について 令和元年度事業報告・決算について

役員会

回	日時/会場	内容
1	7月14日(火) 午後2時～	市社協会長室
		コロナ禍における未来協の活動について
2	3月24日(水) 午前10時～	市社協会長室
		法人の連携のあり方について

(エ)印旛・香取地区中途失聴・難聴者のための手話学習会と手話サロン助成

助成額	50,000円
対象	印旛地区中途失聴・難聴者
日程	
会場	中央公民館他

(オ)民生委員・児童委員関連業務

<p>・佐倉市民生委員・児童委員協議会理事会及び各地区定例会に参加し、情報交換・連絡調整を行った。新型コロナウイルス感染予防のため、状況に合わせて連携方法を工夫した。</p>

オ さくらあつたか食堂ネットワーク

実施内容

佐倉市内で子ども食堂・地域食堂を実施している団体がネットワークの事務局を担い、加盟団体どうしの情報交換や広報活動など側面支援を行った。

a ネットワーク会議

No.	開催日	会場	内容
1	7月14日	佐倉市社会福祉センター 3階中会議室	<ul style="list-style-type: none"> * 新型コロナによる「緊急事態宣言中」の各団体の活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ あつたか食堂ネットワークの活動について ・ コロナ禍(緊急事態宣言)での各団体のアンケート集計 ・ 各団体の活動報告について(情報交換) * あつたかネットワークの今後の活動について <ul style="list-style-type: none"> ・ 1周年記念イベント、研修等について ・ あつたか食堂マップ作成について ・ 寄付金)の使途・配分、野菜等の寄付について ・ 各団体の今後の活動について
2	9月29日	佐倉市社会福祉センター 地下研修室	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいマップの配布について <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内全体の地区回覧について ・ 学校や関係機関、あつたか食堂各団体等への配布 * コロナ禍における各団体の活動報告について <ul style="list-style-type: none"> ・ あつたか食堂ネットワークの活動について ・ 各団体の活動報告について * あつたかネットワークの今後の活動について <ul style="list-style-type: none"> ・ 1周年記念イベント、研修等について ・ 各団体の今後の活動について
3	10月27日	佐倉市社会福祉センター 地下研修室	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいMAPの配布について * コロナ禍での各団体の活動報告および今後の活動について <ul style="list-style-type: none"> ・ 1周年記念イベント、研修等について * その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検便、千葉県子ども食堂連絡会保険について ・ 「第4次佐倉市地域福祉計画」「子育て支援ガイドブック」への掲載 ・ 野菜等の寄付について ・ 子ども食堂ネットワーク(むすびえ)登録について ・ ジイ・シイ企画 CSR委員会(子ども食堂とのタイアップ) ・ 情報提供(子ども食堂元祖「気まぐれ八百屋だんだん」)
4	11月20日	佐倉市社会福祉センター 地下研修室	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいマップの配布状況と反響について * コロナ禍での各団体の活動報告及び今後の活動について * その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜等の寄付状況について ・ デンカポリマー(株)より、お弁当容器の提供(寄付)について ・ 子ども食堂ネットワーク(むすびえ)登録について ・ むすびえ第5回助成金募集について ・ LINE公式アカウントについて ・ 西川悟平氏のオンラインコンサートについて(芽ぶき)
5	12月2日	西部地域福祉センター 会議室	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいマップ(9団体)の配布状況の確認 * 各団体の活動報告及び今後の活動について * 西川悟平氏のオンラインコンサートについて * 子ども食堂ネットワーク(むすびえ)の登録について * 京芋、弁当容器の配布について

b 活動支援協力

1	あつたか食堂ネットワークチラシの市役所・公共施設・学校等への配架協力
2	西川吾平オンラインコンサートのチラシ配架協力
3	金銭・食料品寄附の連絡調整

カ 元気高齢者の活躍サポート事業

今まで地域活動に興味を持っていなかった住民等が「健康づくりや介護度が重度化しない取り組みは、住民が社会参加し支えあうことが重要である」と気づききっかけになるような講座を各圏域の生活支援コーディネーターと生活支援サービスに取り組んでいるいくつかの団体と協同で行う予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

(ア) 生活支援コーディネーターとの反省会

回数	開催日	会場	内容
1		社会福祉センター2階会議室	新型コロナウイルス感染予防のため今年度の活動について生活支援コーディネーターと市社協で検討 ・ボランティアデビュー応援講座 実行委員向けアンケート報告 ・今後の活動に関する意見交換

(3) ボランティアセンター

実施内容

ボランティアの依頼や活動紹介のコーディネート、登録ボランティアへの活動支援、登録や保険に関する受付を行った。また、地域福祉センター、その他関係機関との連携、福祉教育やボランティア講座、広報等の情報発信により、新たな担い手の発掘、育成、ボランティア活動の普及推進の取り組みを行った。

ア ボランティア活動の普及・推進

(ア) ボランティアのコーディネート

ボランティアコーディネーターの配置

常勤体制でボランティアコーディネーターを配置し、コーディネート機能の充実を図った。また、各種研修会に積極的に参加することで、ボランティアコーディネーターのスキルアップや、関係機関とのネットワーク強化など、センター機能の強化をはかることができた。また、地域福祉センターに非常勤のボランティアコーディネーターを配置し、地域のボランティア活動の拠点としての機能の充実と活性化を図った。

相談に対するコーディネート

種別	佐倉市VC	西部VC	合計
支援希望相談	46件	1件	47件
活動希望相談	52件	3件	55件
情報提供	45件	0件	45件

※ VCは、「ボランティアセンター」の略。

(イ) ボランティア情報提供

ボランティア情報提供

- ・ボランティア募集、助成金情報、各種研修会等情報提供(随時)
- ・ホームページでのボランティア団体情報提供(随時更新)
- ・ボランティア受入先紹介を作成し、社会福祉協議会のホームページに掲載
- ・ボランティア体験情報の継続提供

通年でボランティア体験が可能な団体・機関の情報を提供を行うことで、より身近な場所での地域活動に参加できる体制づくりに努めた。

(ウ) ボランティアの登録と斡旋

グループ登録数	99団体	2246名
個人ボランティア登録者数	197名	

(エ) グループ活動費助成の交付

ボランティアグループの活動の育成を図ることを目的に、交付した。

助成金交付グループ 56団体 総助成額 1,153,990円

a. 新設団体運営(令和2年度)

No.	グループ名	助成金交付額	返金額	助成金確定額
1	歌声の広場	7,200	6,870	330
合計		7,200	6,870	330

b. 活動助成(令和2年度)

No.	グループ名	助成金交付額	返金額	助成金確定額
1	点訳サークル野菊の会	15,000	5,930	9,070
2	佐倉市こおろぎの会	25,000		25,000
3	佐倉地域文庫連絡会	25,000		25,000
4	むぎの会	25,000		25,000
5	楡の会	25,000		25,000
6	ボランティアグループありんこ	25,000		25,000
7	まあるい会	25,000		25,000
8	ガールスカウト千葉県第84団	25,000		25,000
9	ユーカリ和の会	25,000		25,000
10	ふきのとう	25,000		25,000
11	手話サークル「希望」	25,000		25,000
12	虹の会	25,000		25,000
13	チューリップの会	25,000	12,890	12,110
14	さくらネイチャーゲームの会	25,000		25,000
15	すおうの輪	15,000		15,000
16	ふれあいいいきサロン白銀	25,000		25,000
17	佐倉印旛沼ネットワークの会	25,000		25,000
18	人づくり街づくり環境づくり	25,000		25,000
19	要約筆記サークル『あうん』	25,000		25,000
20	NPO法人印旛沼広域環境研究会	25,000		25,000
21	手話ダンス虹	25,000		25,000
22	西志津四季の会	25,000		25,000
23	手話サークルコアラの会	25,000		25,000
24	カレッジ園芸	25,000		25,000
25	ひのき太鼓	25,000		25,000
26	朗読サロン「こおろぎの輪」	25,000	14,168	10,832
27	心のふれあいボランティア「ひびき」	25,000		25,000
28	花工房リーベ	25,000		25,000
29	ミュージックベル・歌あそび	25,000		25,000
30	草笛&リーフル「ハッピー〇はっば」	25,000		25,000
31	手話ダンスロード	25,000		25,000
32	高齢者いきいきクラブ「コケコッコ村」	25,000		25,000
33	チーム麦畑	25,000		25,000
34	佐倉小学校ガードボランティア「ひまわり会」	25,000		25,000
35	元気シルバー応援隊	22,000	3,404	18,596
36	あすなろ22	25,000	24,780	220
37	加賀清水22期会	25,000		25,000
38	ねっこの会	25,000		25,000
39	笑いヨガ・ミュージック	25,000		25,000
40	296アイアイ会	25,000		25,000
41	さくら輪の会	25,000	18,000	7,000
42	届けよう笑顔を！「ニコニコ合衆国」23	25,000	24,780	220

43	ユートピア時崎弁天	25,000		25,000
44	ハーモニーの会	25,000	18,140	6,860
45	花の散歩道	25,000		25,000
46	チーム・コピット	25,000	25,000	0
47	佐倉路地裏探検隊	25,000		25,000
48	結の会	25,000	13,880	11,120
49	青い鳥の会	10,000		10,000
50	アロハ・プア・ナニ	20,000		20,000
51	佐っちゃん・倉くん応援隊25	22,000	9,368	12,632
52	キャロット白銀	20,000		20,000
53	チームハピネス	25,000		25,000
54	影絵塾9	25,000	4493	20,507
55	NOUT(ノーツ)	25,000		25,000
合 計		1,324,000	174,833	1,149,167

イ 会議の開催

(ア) 施設ボランティア担当者連絡会

日 時	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。
-----	--------------------------

(イ) ボランティアセンター運営委員会の開催

第1回	6月23日(火) 午前10時～正午 社会福祉センター2階会議室	
	報告事項	①令和2年度ボランティアセンター事業計画 ②令和2年度登録状況について ③令和2年度ボランティア活動助成金事業 申請受付状況について ④行事・イベントについて ⑤ボランティアセンターの相談状況について
	協議事項	①ボランティア活動に関するアンケート回答について ②新型コロナウイルス禍におけるボランティア活動について
	出席者数	運営委員9名(欠席2名)
	傍聴者数	0名
第2回	* 書面会議	
	報告事項	①前回会議の報告 ②コロナ禍におけるボランティア活動アンケートの意見回答 ③ボランティアセンターから各グループ団体への聞き取り調査
	協議事項	①ボランティアセンター運営委員への アンケートのお願い(書面回答依頼)
	出席者数	※書面により回答
	傍聴者数	

第3回	12月15日(火)午前10時～正午 (WEB会議)	
	報告事項	①ボランティアセンターの相談状況について ②行事・イベントについて
	協議事項	①コロナ禍におけるボランティア活動のあり方について ・ボランティアセンター運営委員向けアンケート結果について ・ボランティア団体向けの電話ヒアリング調査について ・今後のボランティア活動について
	出席者数	運営委員7名(欠席1名)
	傍聴者数	0名
第4回	* 書面会議	
	協議事項	①「緩やかな見守り活動」事業の創設について ②「緩やかな見守り活動」にかかわる助成額について ③「緩やかな見守り活動」にかかわる先行予約と減免申請について
	傍聴者数	

(ウ) ボランティア活動助成対象選考委員会の開催

第1回	* 令和2年6月(書面会議)	
	内 容	①令和2年度ボランティア活動助成金申請団体の選考について(書面表決)
	出席者数	※書面表決により全委員回答
	傍聴者数	
第2回	* 令和2年7月(書面会議結果に対する諮問・答申)←	
	内 容	①令和2年度ボランティア活動助成金申請団体の選考について(書面表決)結果による答申
	傍聴者数	

(エ) ボランティア会議

日 時	参集方式の会議は「中止」とし、各団体・個人ボランティアへ郵送による書類送付
	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により参集会議は中止。 (佐倉市社会福祉センター／西部地域福祉センター)
内容	①令和3年度のボランティア登録更新・ボランティア保険の加入方法について ②令和2年度活動報告、決算報告について ③令和3年度ボランティア活動助成金の応募時期について

ウ 佐倉市ボランティア連絡協議会の活動支援

活動費助成	250,000円
活動内容等	運営委員会開催、広報紙発行、役員会開催
支援内容等	役員会出席(Zoomリモート会議の運営支援)、運営委員会出席、活動上の相談・支援、施設利用手続き、連絡調整

エ 福祉教育推進事業

(ア) 福祉学習に関する企画・実践への支援

地区社協エリア	学校(学年)	実施日	支援内容
白井	白井西中学校 (1年生109名)	12月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> *6班に分かれて、福祉体験会を実施 ・見えないことへの理解(アイマスク体験等) ・中途失聴者への理解 ・聞こえないことへの理解(要約筆記) ・まちのバリアフリー(学校内のミニバリア点検会) ・移動サービス(実車両と車いす体験) ・認知症の理解※ (白井・千代田包括・認知症サポーターの協力)

(4) 企画広報

ア 広報啓発事業

実施内容

社会福祉への理解と参加を促進するため、広報活動を展開した。「わかりやすい広報づくり」を念頭に「社協さくら」を年3回発行した。また、Facebookも活用して社会福祉協議会活動の動向を積極的に発信し、関心と理解、協力を得られるように努めたことで、寄附金および食品寄附の増加にもつながった。

(ア) 社協さくらの発行

No.	号数	発行年月日	発行部数(部)	折込部数(部)
1	第200号	令和2年7月1日	49,400	47,750
2	第201号	令和2年10月1日	47,750	47,750
3	第202号	令和3年3月1日	47,750	47,750

(イ) ホームページ

アドレス <http://www.sakurashakyo.or.jp>

年度	アクセス数	月平均アクセス数
2	11,900	992

過去3カ年のアクセス数比較

年度	アクセス数	月平均アクセス数
元	19,298	1608
30	9,330	778
29	9,862	822

(ウ) その他の広報活動

No.	内 容
1	Facebookへの投稿(フォロワー数778名)
2	千葉県社協広報紙「福祉ちば」を関係者に配布

(5) 善意銀行

実施内容

広く市民の善意を金銭及び物品として受け、これを効果的に還元した。小口貸付資金は、生活保護世帯または、それに準ずる世帯の一時的な困窮を切り抜けるための費用として無利子で貸付を行うものである。相談内容が従来に比べ多様化しているため、関係機関とも密接に連携しながら対応している。償還が遅れがちな借受世帯については、民生委員などと協力して、状況把握や償還指導を行った。また新型コロナウイルスにより食料を必要とする世帯が急増し、「フードバンクちば」や関係機関とも連携して支援に取り組む他、Facebookにより広く協力を呼びかけ例年以上の寄附をいただき生活困窮者支援を行った。

ア 金銭、物品の預託、払い出し

(ア) 金銭口座

預託

種別	2年度		元年度		30年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般預託	30	21,110,000	9	254,167	15	247,396
指定預託	9	408,640	12	1,307,784	11	783,094
合計	39	21,518,640	21	1,561,951	26	1,030,490

払出

払出	2年度		元年度		30年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
災害見舞	8	100,000	38	375,000	6	110,000
帰宅旅費	15	6,890	10	3,530	11	4,070
指定払出	9	408,640	12	1,307,784	5	783,094
合計	32	515,530	60	1,686,314	22	897,164

(イ) 物品口座

物品名	預託件数(件)			払出件数(件)		
	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度
食品	249	122	132	522	450	402
その他	106	145	116	78	121	135
合計	355	367	248	600	571	537

イ 小口貸付事業

貸付件数

世帯種別	2年度		元年度		30年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額(円)
生活保護世帯	88	2,515,000	79	3,030,000	73	2,870,000
生活保護申請世帯	0	0	0	0	4	125,000
一般世帯	72	3,930,000	27	944,400	36	1,635,000
合計	160	6,445,000	106	3,974,400	113	4,630,000

償還額

償還額(円)	2年度		元年度		30年度	
	5,315,976		3,934,090		4,197,434	

ウ フードドライブへの協力

実施期間	件数	総重量
第25回(9月14日～10月30日)	18件	542.25kg
第26回(1月18日～2月26日)	20件	55.43kg

(6) 在宅福祉事業

実施内容

家に閉じこもりがちな高齢者が、地域においてボランティア等と共にふれあいの機会を持つことにより、いきいきとした生活ができるよう支援を行った。

ア ふれあい・いきいきサロン

No	グループ名	実施回数	延利用者数
1	ふれあいいきいきサロン白銀	5回	40人
合 計		5回	40人

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、緊急事態宣言時はサロン活動を中止した(1回は電話での安否確認をした)

イ ふれあい型食事サービス

No	グループ名	実施日	対象者数
1	ふきのとう	毎月第1金曜日	374人
2	むぎの会	毎月第2火曜日	583人
3	楡の会	毎月第3火曜日	274人
4	虹の会	毎月第2金曜日	439人
5	チューリップの会	毎月第3金曜日	199人
6	すおうの輪	毎月第3火曜日	112人
7	ユーカリ和の会	毎月第4火曜日	186人
8	キャロット白銀	毎月第2木曜日	66人
合 計			2,233人

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、従来のボランティアグループが弁当を届ける活動が困難となり、材料費を弾力的に活用し、弁当・茶菓・雑貨等の購入や電話や手紙安否確認など、緩やかな見守りにつながる活動など工夫した取組みをしました。

食事サービスグループ懇談会

日 時	コロナ禍の影響で中止

ウ おもちゃ図書館

実施内容

おもちゃを通じた障がい児と健常児のふれあいの場及び子育て支援の場、そして、障がいをもった子どもたちがおもちゃで遊びながら、楽しみながら体の機能や感覚、ことばを養い、成長を促すことを目的としておもちゃ図書館を開館し、おもちゃの貸し出しを行った。

開館状況

開館場所	西部地域福祉センター		南部地域福祉センター		合 計
	第2水曜	第3土曜	第2土曜	第4水曜	
開館回数	3回	4回	0回	3回	10回
利用者数	8人	44人	0人	94人	146人
障がい児数	0人	4人	0人	33人	37人
貸出点数	3点	27点	0点	13点	43点
ボランティア数	15人	12人	0人	9人	36人
修理ボランティア数	0人	4人	0人	0人	4人

会議・研修の参加 2回・9人 移動おもちゃ図書館 0回・0人 布おもちゃ作成 7回・26人
おもちゃ整理・開館準備作業 3回・10人

エ 車イス貸出事業

実施内容

市内在住の高齢者・傷病者などの外出や日常生活を支援するために車椅子を無料にて貸出した。また、小学校での総合学習や福祉教育などの教材としても貸出を行った。貸出窓口については、西部地域福祉センター(8台保有)、南部地域福祉センター(7台保有)及び市内20カ所の郵便局(各1台保有)にて行い、市民の利便性の向上に努めたが、令和2年度はコロナ禍のため利用件数は減少した。

区分別利用台数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
郵便局	8	3	4	8	1	5	29
西部地域福祉センター	1	0	3	4	4	4	16
南部地域福祉センター	1	2	0	1	1	2	7
合 計	10	5	7	13	6	11	52

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度計
郵便局	4	11	6	7	5	9	42	71
西部地域福祉センター	5	2	6	4	4	5	26	42
南部地域福祉センター	4	6	5	5	6	5	31	38
合 計	13	19	17	16	15	19	99	151

年度別貸出台数

区 分	2年度	元年度	30年度	29年度
郵便局	71	112	107	118
西部地域福祉センター	42	57	102	107
南部地域福祉センター	38	60	78	93
合 計	151	229	287	318

オ 菊地久治奨学福祉事業

(ア) 勉学奨励奨学金

実施内容

佐倉市在住のひとり親世帯で低所得世帯に属する、意欲と能力のある学生の勉学支援を行うため、奨学福祉事業をおこなっている。令和3年度奨学生について、大学進学者、大学在学者の両方を対象に10月に募集、11月に第1次選考、12月に第2次選考をおこない、大学在学者2名を決定した。研修については、夏季は、佐倉市障がい者団体等連絡会主催のまち点検に参加した。冬季は、新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、リモートでコロナ禍でのボランティア活動について情報交換をした。

a. 勉学奨励奨学金 交付件数・金額(内訳)

年 度	在 学 生	進 学 決 定 者	合 計	交 付 額 計
令和2年度	5	0	5	4,597,730円
令和元年度	8	2	10	7,993,250円
平成30年度	9	3	12	12,551,800円

※進学決定者は、その年度において、大学進学者向け募集で決定した者

b 卒業生・その他(辞退等)

年 度	
令和2年度	0
令和元年度	5
平成30年度	4
平成29年度	1
平成28年度	2
平成27年度	5
平成26年度	2
平成25年度	2(うち辞退1名)
平成24年度	1

※平成29年度卒業生(大学在学者1名)は、支給延長により、平成30年度大学院に入学した。

c 広報PR・募集活動

令和3年度募集に関して、県内高等学校、対象と想定する大学、ホームページ、民生委員児童委員協議会で募集案内を行った。

d 奨学生選考委員会

大学進学希望者

回 数	開 催 日	会 場	出 席 者 数	内 容
第1回	11月28日(土)	2階会議室	委員4名 職員3名	・諮問 ・奨学生第一次選考について(書類選考)
第2回	12月12日(土)	2階会議室	委員5名 職員2名	・奨学生第二次選考について(面接)
答申	12月21日(月)	※書面にて答申を行った。		

e. 奨学生への支援

奨学生と連絡し、生活面・家庭面・学業面で困りごとや悩みごと等の状況確認を行い、奨学生への支援を行った。また、奨学生へ佐倉市内での社会奉仕活動についての情報を伝え、活動を支援した。

f 研修

夏期交流研修

佐倉市障がい者団体等連絡会主催のまちのバリア点検会に参加し、京成佐倉駅周辺～佐倉市役所までのバリア点検を通して、当事者への理解や相手に寄り添って考えることを学んだ。また研修を通して地区社協等の地域で活動している方々との交流の機会をもつことができた。

日 時	会 場	奨学生出席者数	内 容
10月18日 (日)	ミレニアムセンター 佐倉、京成佐倉 駅、佐倉市役所及 び周辺道路	3名	参加者受付を担当、各グループに分かれまち点検を実施、その後グループごとに意見交換、最後の全体での情報交換ではグループ代表として発表を担当した。

※コロナ禍により2名の奨学生が当日参加できなかったため、後日同テーマでレポートの提出をした。

冬期研修

3月20日(土)、コロナ禍で緊急事態宣言発令中のため、参集しての合同研修は実施できなかったが、Zoomを活用し交流を図った。今年度の学生生活や日常生活状況を報告しあい、またコロナ禍により十分にボランティア活動ができない中、各自が実施したこと、また実施できなかったが今後の展望等を意見交換した。

g 生活状況報告会

奨学生より学校生活・学業成績・社会奉仕活動状況の報告を受け、次期に取り組む活動の課題と目標を整理して奨学生の一層の資質の向上につなげることを目的として成績報告会を11月に開催した。3月については、コロナ禍で緊急事態宣言発令中のため、対面での報告会は中止し書面で報告をした。

日 付	時 間	内 容
11月28日(土)	午前9時～正午	・奨学生の前期学業成績 ・生活状況についての個別面談
3月	対面中止、書面報告	・奨学生の前期学業成績 ・生活状況についての報告

(イ) 勉学奨励一時金

実施内容

令和2年度に生活福祉資金貸付事業の教育支援資金を借受者に対して、入学時に勉学奨励一時金を交付した。

勉学奨励一時金 交付件数・金額(内訳)

年 度	高等学校	専門学校	短期大学	大 学	その他	合 計	交付額
令和2年度	4	2	0	4	0	10名	300,000円
令和元年度	3	0	0	3	0	6名	180,000円
平成30年度	2	6	1	5	0	14名	450,000円

カ 法人後見事業

実施内容

認知症や障がい等で判断能力の低下した方が、安心・安全な生活を送れるように、成年後見制度を活用した法人後見事業を通じて本人の権利擁護を実践した。

(ア) 成年後見制度に関する広報・啓発活動

(イ) 成年後見制度に関する相談業務

ア・イについては、成年後見支援センター事業で報告。

(ウ) 成年後見人等の受任の可否に係る弁護士、司法書士との協議

開催日	対象者	申立類型	審査結果	裁判の確定日
令和2年7月10日	高齢者・女性	後見	可	令和2年8月14日
令和2年11月10日	高齢者・男性	後見	可	令和2年12月23日
〃	精神障害・男性	保佐	可	令和2年12月22日

(エ) 後見業務(被後見人の身上保護及び財産管理) (平成31年4月～令和2年3月末)

被後見人	後見類型	生活形態	裁判の確定日	支援回数
知的障害・男性 57歳	保佐	グループホーム入所	平成24年11月13日	90回
精神障害・女性 56歳	後見	精神病院入院	平成24年12月8日	15回
精神障害・男性 55歳	保佐	在宅	平成26年6月3日	27回
高齢者・男性 71歳	保佐	特別養護老人ホーム入所	平成27年1月9日	32回
高齢者・女性 73歳	後見	精神病院入院	平成27年9月8日	13回
精神障害・男性 70歳	後見	精神病院入院	平成27年10月21日	28回
高齢者・女性 69歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成28年4月23日	4回・死亡
高齢者・女性 80歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成28年5月7日	18回
高齢者・女性 80歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成28年6月3日	20回
高齢者・女性 94歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成28年9月16日	23回
高齢者・女性 87歳	後見	グループホーム入所	平成29年3月22日	12回
高齢者・女性 94歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年6月14日	20回
高齢者・女性 90歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成29年11月3日	12回
知的障害・男性 51歳	保佐	在宅	平成29年11月29日	33回
高齢者・女性 84歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年1月5日	47回・死亡
高齢者・男性 80歳	後見	在宅	平成30年4月7日	56回・死亡
高齢者・女性 87歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年6月7日	25回
高齢者・女性 93歳	後見	精神病院入院	平成30年11月29日	18回・死亡
精神障害・女性 60歳	後見	特別養護老人ホーム入所	平成30年12月28日	39回
高齢者・男性 80歳	後見	ショートステイ利用	平成31年2月28日	41回
高齢者・女性 90歳	後見	有料老人ホーム入所	平成31年3月5日	12回
高齢者・女性 87歳	後見	有料老人ホーム入所	平成31年3月5日	12回
高齢者・女性 76歳	後見	療養病棟入院	平成31年3月19日	23回・死亡
高齢者・女性 82歳	後見	在宅	令和2年8月14日	29回
高齢者・女性 87歳	後見	在宅	令和2年12月22日	44回
高齢者・女性 76歳	後見	住宅型有料老人ホーム入所	令和2年12月23日	12回

(オ) 後見業務における弁護士、司法書士等の法律専門家との連携

・判断に迷う時は、弁護士相談や専門相談(成年後見支援センター)、あるいは電話で相談している。

(カ) 関係機関との連携

・銀行や郵便局との関わり

・家庭裁判所との関わり(判断に迷った時の相談)

・佐倉市との関わり(健康保険課・高齢者福祉課・障害福祉課等)

・被後見人等の親族との関わり

・福祉施設、包括支援センター、相談支援事業所、在宅福祉サービス事業所等福祉関係機関との関わり

・病院、保健所等保健・医療機関との関わり

・弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職及び職能団体との関わり

・NPO佐倉市民後見人協会との連携

キ 移動サービス事業

実施内容

電車、バス、タクシーといった公共交通機関を利用して一人で外出することが困難な高齢者や障がい者等が、通院、福祉サービスの利用や趣味などの社会参加を図るため、市民相互による支え合い事業として移動サービス事業を実施した。コーディネーター9名体制で事務局スタッフとコーディネーターによるケース会議を月2回開催し、利用会員の調査、協力会員の研修、サービスのコーディネートを行い、事業を実施した。

(ア) 会員の状況

利用会員(メンバー)の状況

会員種別	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用会員 (メンバー)	57名	58名	70名
	介護認定48人、障がい者16人、その他2人(重複あり)	介護認定44人、障がい者18人、その他3人(重複あり)	介護認定56人、障がい者23人、その他4人(重複あり)
協力会員 (サポーター)	21名	33名	40名
後援会員 (スポンサー)	25件 45,000円	15件 34,000円	87件 161,000円

(イ) 利用目的別回数

年度	通院	送迎	趣味	買物	その他	合計
令和2年度	232	26	13	48.5	6.5	326回
令和元年度	273.5	70	24.5	41	11	420回
平成30年度	229.5	82	10	67	5.5	464回

(ウ) 運行実績

年度	稼働日	回数	活動距離数	活動時間数	車両数
令和2年度	186日	326回	4,082.00km	991時間26分	4台
令和元年度	212日	420回	5,843.00km	1048時間18分	4台
平成30年度	221日	464回	7,190.00km	973時間11分	4台

(エ) サポーター基本研修

年度	実施日	参加者(修了者)
令和2年度	1/30・31で企画をしたが、コロナ禍で緊急事態宣言発令のため中止	
令和元年度	7月29日(月)、7月30日(火)	7名
	1月23日(木)、1月24日(金)	3名
平成30年度	7月25日(水)、7月26日(木)	8名
平成29年度	7月22日(土)、7月23日(日)	7名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・移動サービス概論 移動サービス活動の実際、移動サービスの利用者を理解する接遇と介助 ・移動サービスでの運転に必要な知識と心構え 福祉車両について、運転実技 ・移動サービスに必要な介助技術 交通安全講習、修了証書授与(後日交付) 	

(オ) サポーター現任者研修・交流会

年 度	実施日	参加者
令和2年度	コロナ禍のため実施せず	
令和元年度	3月2日(月)※新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため中止	
平成30年度	1月24日(木)	11名
平成29年度	1月25日(木)	21名

(カ) 移動サービスコーディネーター会議

年 度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
開催回数	15回	24回	24回

毎月2回、コーディネーターと職員が集まり、新規訪問ケースの報告・検討、訪問予定ケースの報告・調整、移動サービス運行上のケース情報の共有を行い、日常的運行の円滑化を図った。

※コロナ禍の緊急事態宣言発令期間中は中止した。

ク 生活困窮世帯子ども支援事業

実施内容

元気に育て子ども基金を財源に佐倉市在住で経済的な理由等により生活困窮世帯に属する子どもが健やかに育つように必要な資金として支援金を交付し世帯の自立援助に寄与するために実施した。

(ア) 支援金交付実績

	件数	金額(円)	主な用途
4月	2	169,850	高校制服代、家賃代
5月	0	0	
6月	1	10,990	通学定期代
7月	1	13,057	中学校教材費
8月			
9月	1	100,000	DVケース生活費
10月	0		
11月	0		
12月	1	35,200	子どもの眼鏡代
1月	0		
2月	1	100,000	学生服等入学費用
3月	4	400,000	DVケース転居費用、学生服等入学費用、転居費用、医療費支払い後生活費
合計	11	829,097	

(イ) 関係機関などとの連携

生活困窮者自立支援事業での相談支援や児童青少年課、学校、民生委員など関係機関と連携し、困窮世帯の子ども支援に取り組んだ。

ケ 終末ケア・終活支援事業

実施内容

エンディングノート「心の遺言ノート」の告知をホームページやFacebookを始め、各種会議や関係機関へ宣伝して66部を販売した。また、終活に関する講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。

(7)福祉総合相談事業

実施内容

日常生活上のさまざまな悩みを抱える地域住民に対して、相談に応じ、相談者ごとの諸問題について適切な助言と援助を行うことで、問題解決に向けての協力を行った。また、相談に対して即応し、早期問題解決へつなげるよう心配ごと相談窓口を開設した。さらに専門相談開設により、きめ細かな対応を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、心配ごと相談及び法律相談を4月～6月と1月～3月を中止の他、市民相談員及び心配ごと相談員合同研修及び令和2年度印旛ブロック市町社会福祉協議会相談事業運営研究協議会も中止となった。

ア 設置状況

相談内容	開設場所		開設日	開設時間
心配ごと相談	佐倉	社会福祉センター	毎週月曜日	10:00～15:00
	志津	西部地域福祉センター	第1・3水曜日	10:00～15:00
	根郷	南部地域福祉センター	第2・4金曜日	10:00～15:00
法律相談	社会福祉センター		毎月第4月曜日	10:00～15:00
介護生活相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
ボランティア相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00
貸付相談	社会福祉センター		毎週月曜日～金曜日	8:30～17:00

イ 福祉総合相談所相談状況

相談名	相談件数			相談内容件数		
	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度
心配ごと相談(佐倉)	13	61	54	13	73	64
〃 (志津)	13	19	41	13	21	46
〃 (根郷)	9	15	15	9	19	15
法律相談	48	49	57	48	86	96
介護生活相談	36	25	26	36	25	26
ボランティア相談	147	241	234	147	241	234
合計	266	410	427	266	465	569

ウ 内容件数内訳(心配ごと相談・法律相談)

相談事項	心配ごと									法律			合計(心配ごと)		
	佐倉			志津			根郷			佐倉					
	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度
1 年金	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	1	1	1	0
2 生計	2	3	6	2	0	7	0	2	0	0	0	2	4	5	13
3 職業・生業	0	0	3	1	0	3	0	0	0	1	1	0	2	0	6
4 住宅	1	4	5	1	0	3	0	0	1	0	3	1	2	4	9
5 家族	5	21	15	2	6	11	4	6	5	2	2	3	13	33	31
6 DV問題	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	2
7 結婚	0	1	2	0	1	0	1	0	0	4	4	6	5	2	2
8 離婚	0	3	3	1	1	1	0	1	2	0	0	1	1	5	6
9 健康・衛生	0	1	2	1	1	2	0	1	0	0	0	0	1	3	4
10 医療	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	1	0	4	0
11 精神保健福祉	0	4	5	0	2	1	0	0	0	19	37	33	19	6	6
12 人権・法律	1	2	4	1	0	0	0	2	0	13	29	35	15	4	4
13 財産	1	6	1	1	3	2	0	1	1	5	5	7	7	10	4
14 事故	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15 児童・母子保健	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
16 教育・青少年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
17 心身障がい者福祉	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
18 母子・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 高齢者福祉	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

20	苦情	0	1	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3
21	ボランティア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0
22	近隣	2	12	5	0	3	4	0	1	1	0	0	1	2	16	10
23	その他	1	10	11	2	2	9	2	2	5	0	0	3	5	14	25
24	ひきこもり	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計		13	73	64	13	21	46	9	19	15	48	86	96	83	113	125

エ 会議及び研修

(ア) 市民相談員及び心配ごと相談員合同研修

新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止。

(イ) 心配ごと相談員会議

新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止。

(ウ) 令和2年度印旛ブロック市町社会福祉協議会 相談事業運営研究協議会

新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し中止。

(エ) 佐倉市福祉総合相談所運営委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し書面で令和2年度報告及び心配ごと相談開所日にくらしサポートセンター佐倉の出張相談を隣室で行うことへの意見を伺った。

<委員意見>

- ・コロナ禍により生活支援相談の増加が見込まれるため、同時開催の需要はある。
- ・コロナ禍により暮らしの生活全般が大きく変わったため、暮らしサポートセンターの同日開催に賛成。
- ・住民への周知をし同日開催を効果的に生かしてほしい。

(8) 受託事業

ア 声の広報等発行事業

実施内容

市内在住の視覚に障がいのある方々に対して、地域で生活していくために必要な情報を載せた広報紙を音声や点字に変換して提供した。

【音 訳】

発行広報	発行回数	送付数	ボランティア数
こうほう佐倉	24回	26人／1回あたり	100名
こうほう佐倉(特集号)	1回	25人／1回あたり	4名
こうほう佐倉(特集号)	3回	26人／1回あたり	3名
計	28回		107名

【点 訳】

発行広報・書類	発行回数	送付数	ボランティア数
野菊通信	8回	18人／1回あたり	32名
盲学校からの依頼	3回	1団体／1回あたり	212名
個人・施設からの依頼	8回	1人／1回あたり	32名
計	19回		276名

イ 障害について学ぶ市民講座

実施内容

【障害者作品展『ふれあいギャラリー』】

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ウ 生活福祉資金貸付事業

実施内容

千葉県社会福祉協議会から受託しているこの事業は、低所得世帯、高齢者世帯、障がい者・児世帯に対して、経済的自立と更生意欲の助長促進を図ることを目的としている。相談援助の中で必要な資金の貸付を行い、その後も継続して民生委員はじめ関係機関との連携のもとで、借受世帯を見守り、支援している。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、緊急小口資金等特例貸付(新型コロナウイルス特例小口貸付資金と新型コロナウイルス特例総合支援資金)の申請が令和2年3月25日から開始され、相談対応職員を増員して対応した。

(ア)生活福祉資金貸付件数

資金種類		貸付決定件数(件)／金額(円)内訳					
		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
総合支援資金	生活支援費			0	0	0	0
	住宅入居費			0	0	0	0
	一時生活再建費			0	0	0	0
	増額申請			0	0	0	0
	生活支援費(特例貸付)	508	275,820,000	0	0		
	生活支援費(延長)	233	126,500,000				
	生活支援費(再貸付)	78	4,293,000				
緊急小口資金				53	3,285,000	68	3,820,000
緊急小口資金(特例貸付)		860	163,535,000	4	420,000		
臨時特例つなぎ資金				0	0	0	0
教育支援資金	教育支援費	8	5,700,000	5	2,806,000	11	8,666,000
	就学支度費	11	5,500,000	5	1,335,000	15	6,745,000
福祉費	転宅費	1		0	0	0	0
	障害者自動車購入費	1		0	0	0	0
	療養費			0	0	0	0
	福祉用具購入費			0	0	0	0
	住宅改修費	1		0	0	0	0
	小規模住宅改修			0	0	0	0
	災害援護費			0	0	0	0
	技能修得費	1	1,600,000	0	0	0	0
	冠婚葬祭			0	0	0	0
復興支援資金				0	0	0	0
不動産担保型生活資金				0	0	1	18,019,360
要保護世帯向け不動産担保型生活資金				0	0	1	3,891,554
合 計		1702	582,948,000	67	7,846,000	96	41,141,914

(イ)貸付関係相談件数

貸付関連相談件数(延べ)	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	6,387	2,515	3,341

(ウ)生活福祉資金借受世帯支援状況の調査

11月に民生委員・児童委員協議会と連携し、生活福祉資金借受世帯に対する民生委員の支援活動状況の把握調査を行った。

エ 日常生活自立支援事業

実施内容

千葉県社会福祉協議会からの委託事業として、高齢者や障がい者等判断能力に不安のある方が、安心して地域生活を送るために、必要な福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理をご本人との契約により行うとともに、本事業の普及を行った。

(ア) 実施状況 令和3年3月末現在 (人)

年 度	2年度	元年度	30年度
新規契約者数	35	28	21
解 約 数	20	17	28
契約締結審査 会 承 認 数	17	12	8
県後見支援センター 事務局審査承認 数	18	11	13

(人)

年 度	2年度	元年度	30年度
利 用 者 数	104	88	77
生活支援員数	21	18	24

(件)

年 度	2年度	元年度	30年度
福祉サービス利 用 援 助	104	88	77
財 産 管 理	102	87	76
財 産 保 全	4	6	7

対象別	契約ケース			解約ケース		
	人 数			人 数		
	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度
高 齢 者	69	59	39	19	12	19
知的障がい	6	5	6	0	1	2
精神障がい	32	29	27	4	5	6
そ の 他	11	6	5	0	1	1
合 計	118	99	77	23	19	28

※重複あり

(支援回数)

回数別	人 数		
	2年度	元年度	30年度
月 1 回	66	59	51
月 2 回	24	24	19
週 1 回	3	1	2
そ の 他	11	4	5
合 計	104	88	77

(イ) 契約締結審査会

(件)

回数	開催日時	新規	評価	解約	契約変更	その他
第242回	4月21日(火)	2	8	1	1	0
第243回	5月19日(火)	1	3	0	0	0
第244回	6月16日(火)	0	12	3	0	0
第245回	7月21日(火)	3	5	1	0	0

第246回	8月20日(木)	0	4	2	0	0
第247回	9月15日(火)	2	8	0	0	0
第248回	10月20日(火)	3	2	0	0	0
第249回	11月17日(火)	2	12	0	0	0
第250回	12月15日(火)	0	9	5	2	0
第251回	1月19日(火)	1	5	3	1	1
第252回	2月16日(火)	2	5	1	0	0
第253回	3月16日(火)	4	8	2	1	0
合計		20	81	18	5	1

(ウ)連絡会議

日 時	3月18日(木)10時～正午
場 所	WEB開催
出 席 者	専門員2名
内 容	①令和3年度事業業務委託費(案)について②利用料について③成年後見制度利用促進の中核機関設置状況等について④不正防止について⑤その他事業実施上の課題等について意見交換

(エ)現任生活支援員研修(佐倉市社会福祉協議会主催)

日 時	6月26日(金)13時30分～15時
場 所	社会福祉センター 地下研修室
出 席 者	生活支援員13名 法人後見支援員7名
内 容	①日常生活自立支援事業の事務連絡について ②「成年後見制度利用促進法と地域連携ネットワークについて」 講師:佐倉社会福祉協議会局長 深沢孝志

(オ)その他研修会

日 時	5月20日(水)10時～16時30分
主 催	千葉県社会福祉協議会
場 所	千葉県社会福祉センター 5階中研修室
出 席 者	
内 容	「日常生活自立支援事業に係る新任専門員研修会」※延期のため実施せず

日 時	1月22日(金)～1月28日(木)
主 催	千葉県千葉リハビリテーションセンター
場 所	WEB開催
出 席 者	専門員6名
内 容	「知ってほしい!千葉リハ高次脳支援～回復期医療その後～」

日 時	3月15日(月)9時40分～15時5分
主 催	全国社会福祉協議会
場 所	WEB開催
出 席 者	専門員1名
内 容	「専門員実践力強化研修会Ⅱ」

日 時	3月19日(金)10時～16時
主 催	千葉市成年後見支援センター／全国権利擁護支援ネットワーク
場 所	WEB開催
出 席 者	専門員2名
内 容	「権利擁護支援従事者研修in千葉」

エ 成年後見支援センター

実施内容

佐倉市では「佐倉市成年後見制度利用促進基本計画」を令和2年3月に策定し、これまでの成年後見支援センターを「地域連携ネットワーク」の軸となる「中核機関」としての位置づけとなり、利用促進のための体制整備や機能強化が図られた。コロナ禍での開催中止となる催しもあった。

1.成年後見制度の周知及び啓発

①成年後見制度等についての情報(広報紙、パンフレット等)をセンターに常備し、市民等へ配布する
②講演会の実施、③専門相談の実施、④ホームページの管理運営、⑤関係機関への広報啓発、地域連携ネットワークの参加促進、新規参加者の発掘、研修、⑥成年後見制度利用促進基本計画に係る佐倉市の取り組みへの協力、⑦佐倉市と基本計画に沿った協議・立案会議の開催

①成年後見制度講演会

開催日	11月28日(土)	参加者	22名
場 所	西部地域福祉センター会議室		
内 容	【講演】「任意後見契約と遺言書について」 講師:弁護士		

②成年後見制度ミニ講座

開催日	8月22日(土)	参加者	2名
場 所	社会福祉センター2階会議室		

③出張説明会

開催日	9月14日(月)	参加者	17名
場 所	健康管理センター		
内 容	佐倉市障害者総合支援協議会啓発・権利擁護部会「成年後見制度研修」		

④地域連携ネットワークづくり研修会

開催日	10月21日(水)	参加者	12名
場 所	ミレニアムセンター佐倉ホール		
内 容	1.成年後見制度利用促進基本計画について 2.講演「成年後見制度」について講師:社会福祉士 3.佐倉市成年後見支援センターの業務紹介		

⑤佐倉市と基本計画に沿った協議・立案会議(毎月開催)

2.相談業務

①成年後見制度に関する情報提供(来所および出張相談)、②成年後見人の業務、活動の概要説明、③専門機関等の紹介、④申立て支援、⑤権利擁護支援の必要性、成年後見制度・サービス等利用の検討(アセスメント・スクリーニングの実施)、⑥成年後見制度以外のサービス等への連携及び繋ぎ、⑦相談の記録と保管

①相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
専門相談	中止	中止	0	3	0	3	6	6	4	中止	中止	中止	22
一般相談	24	33	28	48	44	35	42	23	45	25	39	75	461
月別集計	24	33	28	51	44	38	48	29	49	25	39	75	483

②個別相談会の開催

No.	開催日	会場・相談員	参加数
1	8月22日(土)	佐倉市社会福祉センター2F相談室 相談員:弁護士	2組3名
2	11月28日(土)	西部地域福祉センター相談室 相談員:司法書士	4名
3	2月6日(土)	佐倉市社会福祉センター2F相談室 相談員:司法書士	中止

③受任調整会議の開催

第1回佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議及び運営会議 (8月28日)

第2回佐倉市成年後見支援センター(中核機関)受任調整会議及び運営会議 (令和3年1月 書面開催)

3.成年後見人等の支援

成年後見人等からの①相談対応、②支援チーム編成支援、③専門職等からの協力を受けられる支援、④成年後見事務の支援や助言、⑤研修会・集いの開催

成年後見制度後見人の集い

開催日	会場	参加者
2月6日(土)	佐倉市社会福祉センター地下研修室	中止

4.市民後見人の支援及び活用業務

①佐倉市市民後見人名簿の登録及び管理、佐倉市への書類提出、②スキルアップ研修、③佐倉市市民後見人名簿登録者の成年後見に関する活動状況調査と継続掲載の意向確認、④名簿登録者への情報提供、⑤市民後見人選任に関し、佐倉市への市民後見人養成講座修了生の情報提供や受任調整会議への出席等についての協力、⑥実務相談等の市民後見人の後見活動支援

①佐倉市市民後見人名簿登録者:8名

市民後見人選任中:1名、令和3年3月末現在、市民後見人選任に関する申立て中の案件:2件

②市民後見人名簿登録者スキルアップ

市民後見人名簿登録者スキルアップ研修

No.	開催日	研修内容	参加数
1	6月26日(金)	「成年後見制度と日常生活自立支援事業について」 「成年後見制度利用促進法と佐倉市の基本計画について」	9名
2	11月28日(土)	講演会と兼ねる	5名
3	令和3年3月 レポート提出による開催	「意思決定支援について考える」(動画を見て) 「法人後見支援員としての振り返りや今後の活動について」	8名

日常生活自立支援事業生活支援員及び法人後見事業支援員としての活動

5.その他、委員会・会議等への出席

①佐倉市障害者総合支援協議会啓発権利擁護部会

②認知症対策検討会

③相談支援事業所との事例検討会

④佐倉市障害者差別解消支援地域協議会

カ 生活困窮者自立支援事業

実施内容

佐倉市から生活困窮者自立支援事業を佐倉市社会福祉協議会、社会福祉法人生活クラブの2法人で佐倉市生活困窮者自立支援事業共同事業体として受託し、行政や地域包括支援センター、中核地域生活支援センター、相談支援事業所等、地区社協、民生委員、地域住民などと連携し、生活困窮者に対して家計、就労などの相談支援を包括的・継続的に行った。

特に、コロナ禍において、就労環境の変化に伴い休業等による収入減少や離職せざるを得ない状況となった方の増加に伴い、住居確保給付金や生活福祉資金の貸付相談に伴う相談も増加した。住居確保給付金については、当初、相談対応から申請手続き、その後の状況確認や支援を行っていたが、10月から申請手続き事務、及び受給者への状況確認を市へ対応を依頼し実施した。総合支援資金については、緊急小口資金等特例貸付(コロナ特例)として、当初は相談件数が多くなることが予想されたことから、自立相談を行わなかったが、延長貸付、及び1月からの再貸付の申請時には自立相談が必要とされ、対応している。

相談内容としては、コロナの影響から緊急性、急迫性の相談対応が多かった。コロナ禍での就職活動は厳しく、外国籍の方や就職活動に困難を抱える方に対する相談支援も増加した。また、仕事や家計を切り口に、障がいや障がいの疑いからくる様々な課題が見えてくる複合課題や、過重なケースが多くなってきている。また、今年度からスタートしたひきこもり支援事業では、現在62名の方に対して、本人や家族への相談支援を行っている。

(ア)相談ならびに支援状況

内 容		件 数	備 考
相談支援対応件数(延べ)		7,014	
うちひきこもり相談支援対応		420	
うち住居確保給付金対応		2,075	申請者131名 延長69件、再延長36件 再々延長12件、再申請11件
うち総合支援資金自立相談対応		512	延長貸付253件、再貸付259件
新規相談受付件数		1,025	
うちひきこもり相談支援新規受付		30	
うち住居確保給付金新規受付		445	
支援決定(確認)件数(新規)		104	新規(うち緊急支援39件)
支援決定(確認)件数(再プラン)		53	
支援終了件数		96	
支援継続件数		30	
(内訳)	自立相談支援(新規+再プラン)	157	重複あり (新規+再プランケース)
	住居確保給付金	35	
	家計相談支援	79	
	就労準備支援	13	
	就労準備支援(訓練)	3	
	自立相談支援事業就労支援	66	

※住居確保給付金は、新型コロナウイルス感染症拡大に関する支援策として、休業等による収入減収世帯へも対応することとなり、相談申請の急増に対応する事務簡潔化のため、4月30日付、厚生労働省通知により、住居確保給付金の受給のみの場合、プラン作成は必須ではなくなり、自立相談支援事業による継続的な支援が必要とする場合にプランを作成していくことになった。また、12月に入っても就業機会等が改善することが困難と予測されたことから、1月の規則一部改正により支給可能期間が12か月までに延長され、再申請が可能となり、支援プランについても順次作成していくことになった。

(イ) 自立支援計画支援調整会議の開催

回	日 時	場 所	出席者数	内 容
1	4月16日	書面審査		新規ケース 8件(うち緊急6件) 評価ケース 4件(うち再プランケース3件)
2	5月21日	書面審査		新規ケース 23件(うち緊急支援13件) 評価ケース 8件(うち再プランケース1件)
3	6月18日	社会福祉センター 地下研修室	17名	新規ケース 13件(うち緊急支援5件) 評価ケース 17件(うち再プランケース8件)
4	7月16日	佐倉市役所 議会棟 第二委員会室	16名	新規ケース 11件(うち緊急支援3件) 評価ケース 10件(うち再プランケース1件)
5	8月20日	社会福祉センター 地下研修室	17名	新規ケース 8件(うち緊急支援1件) 評価ケース 15件(うち再プランケース7件)
6	9月17日	社会福祉センター 地下研修室	16名	新規ケース 2件(うち緊急支援0件) 評価ケース 14件(うち再プランケース7件)
7	10月15日	社会福祉センター 地下研修室	18名	新規ケース 1件(うち緊急支援1件) 評価ケース 11件(うち再プランケース6件)
8	11月19日	社会福祉センター 地下研修室	15名	新規ケース 7件(うち緊急支援1件) 評価ケース 10件(うち再プランケース4件)
9	12月17日	社会福祉センター 2階会議室	16名	新規ケース 13件(うち緊急支援6件) 評価ケース 13件(うち再プランケース4件)
10	1月21日	書面審査		新規ケース 4件(うち緊急支援1件) 評価ケース 12件(うち再プランケース2件)
11	2月18日	書面審査		新規ケース 7件(うち緊急支援0件) 評価ケース 13件(うち再プランケース7件)
12	3月18日	書面審査		新規ケース 5件(うち緊急支援2件) 評価ケース 12件(うち再プランケース3件)

(ウ) 視察、派遣、取材対応

対応種別	日 時	場 所	対 応 内 容
視察	11月18日	社会福祉センター地下研修室	就労準備支援事業に関する視察(福島市)
取材	8月21日	根郷公民館(ねっこの会)	東洋大学(学生)からの依頼により、「子ども・若者への教育支援に関する調査」に関して、学習支援見学とインタビューへの協力
	9月9日	電話による取材	慶応大学(学生)の共同論文(テーマ:生活困窮者自立支援制度をめぐる国と地方の動向)の作成に関してアンケートに協力

(エ) 児童虐待防止ネットワーク会議

回	日 時	場 所	会議名(主催)
1	8月3日	議会棟第4委員会室	児童虐待防止ネットワーク実務者会議 進行管理会議(児童青少年課)
2	11月9日	佐倉市役所3号館会議室	児童虐待防止ネットワーク実務者会議 進行管理会議(児童青少年課)
3	2月1日	佐倉市役所3号館会議室	児童虐待防止ネットワーク実務者会議 進行管理会議(児童青少年課)

個別ケースについての情報共有のため、担当課と進行管理会議を行った。本会議に出席する地域共生推進班と個別課題の対応と地域づくりに連携して取り組んだ。

(オ)印旛地域生活困窮者自立支援事業ネットワーク協議会会議関係

<総会>

回	日 時	場 所	内 容
1	7月31日	四街道市総合福祉センター 3階会議室	<検討事項> 書面決議も含むみなし総会として開催 ・令和元年度事業報告及び決算報告について ・会則の変更について ・令和2年度事業計画及び予算案について ・役員の変更について

<各種研修会>

回	日 時	場 所	内 容
1	10月10日	ZOOMによるWEB研修	印旛ネット情報共有会 ～コロナ禍で見えてきた新たな支援～
2	3月20日	ZOOMによるWEB研修	第7回印旛ネット事例検討会(4つの困難事例によるグループ検討会)当センターからも複合課題の事例を発表した。

(カ) <各種研修>

回	日 時	場 所	内 容
1	10月下旬から1月下旬	WEB研修	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 ①主任相談支援員養成研修 ②相談支援員養成研修 ③就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修
2	12月1日 12月8日	千葉県庁本庁舎5階会議室	生活困窮者自立支援制度従事者研修
3	1月8日	ZOOMによるWEB研修	生活困窮者自立支援制度関東・甲信越ブロック別研修

(キ)会議等参加

回	日 時	場 所	内 容
1	11月29日	ZOOMによる会議	第7回生活困窮者自立支援全国研究交流大会

(ク)広報

令和2年4月から「くらしサポートセンター佐倉」への窓口名称変更、及び本事業を幅広く周知すること、活用促進を目的として、チラシを作成、民生委員児童委員協議会、行政関係部署、店舗等に周知依頼を行った。高齢者に家計改善の相談が増加していることから家計改善セミナーを予定していたが、コロナの影響で中止としたため、チラシを作成、民生委員児童委員協議会、高齢者福祉課、各地域包括支援センターへ周知依頼を行った。

(ケ)民生委員児童委員協議会への制度周知

開催日	地区民児協	会 場	内 容
4月	理事会	社会福祉センター	窓口名称変更及び本事業の周知依頼
1月	理事会	社会福祉センター	高齢者向け家計改善支援事業の周知依頼

※理事会は出席し依頼したが、コロナの影響により、各地区定例会はチラシ配布により周知した。

(コ)調査

回	調査名	調査依頼元
1	生活困窮者自立支援制度の新たな評価指標による調査(5月調査)	厚生労働省社会・援護局 地域福祉課生活困窮者自立支援室
2	令和元年度支援状況調査	厚生労働省社会・援護局 地域福祉課生活困窮者自立支援室
3	生活困窮者等に対する居住支援の対象者像及び状態に応じた支援等に関する研究事業	特定非営利活動法人抱樸
4	厚生労働省令和2年度社会福祉推進事業「生活困窮者自立支援システム相談支援記録に関する分析」データ提供	みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部
5	令和2年度 厚生労働省 社会福祉推進事業 コロナ禍における生活困窮者のデジタル格差等に関する調査	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 経済政策部 生活困窮者アンケート調査事務局
6	社協が実施する自立相談支援機関の状況に関する緊急調査	社会福祉法人 全国社会福祉協議会
7	中核地域生活支援センターに関するアンケート調査	中核地域生活支援センター
8	生活困窮者自立支援法等に基づく各事業の令和元年度事業実績調査	厚生労働省社会・援護局 地域福祉課生活困窮者自立支援室
9	「子どもの学習・生活支援事業における関係機関等との連携状況等に係るアンケート調査」	株式会社 日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
10	ダイバーシティ就労支援サービス提供機関アンケート	公益財団法人日本財団
11	ひきこもりの多様性とその支援手法に関する調査	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国府台病院 子どものこころ総合診療センター 児童精神科

(サ)仕事と暮らしの出張相談会

回	日時	場所	相談件数
1	7月31日	志津市民プラザ401会議室	相談者3名(新規2名、継続相談者1名)
2	9月23日	南部地域保健センター2階相談室	相談者0名(新規0名、継続相談者0名)
3	11月27日	西部地域福祉センター相談室	相談者1名(新規0名、継続相談者1名)
4	1月29日	志津市民プラザ401会議室	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
5	3月24日	南部地域保健センター2階相談室	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(シ)学習・生活支援事業

学習支援活動は、緊急事態宣言中、市内施設が利用できなかったため、4月、5月は施設利用団体は活動を休止しました。緊急事態宣言後、6月から、市内施設は定員を半減し、利用者名簿作成、マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保のための仕切り設置等のコロナ対策を施設、佐倉市担当課と調整し、再開しました。定員が半減していることに対しては、施設に会場予約を増やす対応をしていただいた。

家庭での学習環境や習慣が整っていない子や外国ルーツで家庭では日本語以外を話している子たちもいるため、学習支援活動はコロナ禍でも必要とされる事業であり、ボランティアと話し合いながら、団体によっては対象者を限定したり、入れ替え制にしたりしながら支援活動をおこなった。各団体で関わった中学3年生19名については、全員高校進学が決定した。

また、当事業相談者から4名の児童生徒が、判定会議を経て、学習支援団体利用へつながっている。

a. 佐倉市内学習支援活動団体懇談会

回	日 時	場 所	内 容
1	12月22日	佐倉市役所1号館6階第1会議室	(1)コロナ禍における学習支援活動状況報告 (2)各団体からの協議事項に関する意見交換
2	3月(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、参加各団体からの意見徴収を行った)		

(ス)自立相談支援(ひきこもり)

a. 社会参加支援

No.	内 容
1	対象者に対しての外出支援 10/21相談者宅近辺、11/30佐倉ふるさと広場、3/24草ぶえの丘へ外出支援を行った。
2	対象者を佐倉商工会議所で行うパソコン教室につないだ。
3	電気工事士の資格を持つ対象者へ、市内電気屋の協力を得て体験就労につないだ。
4	対象者を地区社会福祉協議会の協力を得て、支えあいサービスの協力会員(草取り)登録し、地域活動につないだ。
5	対象者を地区社会福祉協議会の協力を得て、支えあいサービスの協力会員(草取り)登録し、R3年度の地域活動への参加につないだ。
6	対象者を地区社会福祉協議会の協力を得て、支えあいサービスの協力会員(ゴミ捨て)登録し、地域活動につないだ。対象者は6ヶ月間地域活動を続けており、介護職員初任者研修を受講し、資格取得した。就職活動支援を行っている。

b. ひきこもり家族の会

回	日 時	場 所	内 容
1	1月22日	ミレニアムセンター	元印旛保健所精神保健福祉係 鈴木剛氏を講師に迎え開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

キ 介護人材確保対策事業

実施内容

高齢者が住み慣れた地域で必要とする福祉サービスを利用できる地域社会を目指し、佐倉市社会福祉施設協議会の協力のもと、福祉を担う人材育成を目的に介護職員初任者研修を実施した。受講者20名全員が修了し、介護知識・技術の向上ならびに新たな人材の市内福祉施設への就職に繋がった。

日	時間	講座名	時間数	講師	会場	
令和2年 11/10(火)	9:30~9:50	開講式・オリエンテーション			佐倉市社会福祉センター 地下研修室	
	9:50~10:50	1-1	多様なサービスの理解	2		竹内 淳 (特別養護老人ホーム 佐倉白翠園)
	11:00~12:00					
	13:00~14:00	1-2	介護職の仕事内容や働く現場の理解	2		
14:10~15:10						
11/12(木)	9:00~10:30	2-1	人権と尊厳を支える介護(1)	3		杉山 美枝子 (佐倉市社会福祉協議会)
	10:40~12:10					
11/17(火)	9:00~10:30	2-1	人権と尊厳を支える介護(2)	3		谷野 宏輝 (佐倉市社会福祉協議会)
	10:40~12:10					
	13:10~14:40	2-2	自立に向けた介護	3		小笠原 健 (特別養護老人ホーム 佐倉白翠園)
	14:50~16:20					
11/19(木)	9:00~10:30	3-1	介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5		内川 浩明 (特別養護老人ホーム ゆたか苑)
	10:40~12:10	3-2	介護職の職業倫理	1.5		
11/24(火)	9:00~10:00	8-1	障害の基礎的理解	1		塚本 淳智 (さくら総合発達支援センター ホープ)
	10:10~11:10	8-2	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1		
	11:20~12:20	8-3	家族の心理、かかわり支援の理解	1	新井 真由美 (障害者相談支援事業所レインボー)	
	13:20~14:50	4-1	介護保険制度	3	岡本 崇広 (千葉県社会福祉士会)	
	15:00~16:30					
11/26(木)	9:00~10:30	4-2	医療との連携とリハビリテーション	3	田中康之 (千葉県リハビリテーションセンター)	
	10:40~12:10					
12/1(火)	9:00~10:30	4-3	障害者福祉制度及びその他制度	3	岡本 崇広 (千葉県社会福祉士会)	
	10:40~12:10					
	13:10~14:40	5-1	介護におけるコミュニケーション	3	近藤 美貴 (社会福祉法人愛光)	
	14:50~16:20					
12/3(木)	9:00~10:30	5-2	介護におけるチームコミュニケーション	3	近藤 美貴 (社会福祉法人愛光)	
	10:40~12:10					
	13:10~14:40	6-1	老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	梅崎由貴 (佐倉市志津北部地域包括支援センター)	
	14:50~16:20					
12/8(火)	9:00~10:30	6-2	高齢者と健康	3	宍戸 智子 (宍戸内科医院)	
	10:40~12:10					
	13:10~14:40	7-1	認知症を取り巻く状況	1.5	高橋 一江 (特別養護老人ホームゆたか苑)	
	14:50~16:20	7-2	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5		
12/10(木)	9:00~10:30	7-3	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	松尾 徳子 (佐倉市佐倉地域包括支援センター)	
	10:40~12:10	7-4	家族への支援	1.5		
12/15(火)	9:00~10:30	3-3	介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	荒井 裕美子 (佐倉市社会福祉協議会)	
	10:40~12:10	3-4	介護職の安全	1.5		
	13:10~14:10	9-1	介護の基本的な考え方	2	釧地 平子 (成田国際専門学校講師)	
	14:20~15:20					

12/17(木)	9:30~10:30	9-3	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	宍戸 智子 (宍戸内科医院)
	10:40~12:10				
	13:10~14:10				
	14:20~15:50				
12/22(火)	9:30~10:30	9-2	介護に関するこころのしくみの基本的理解	5	鎌田 大輔 (地域生活支援センター レインボー)
	10:40~12:10				
	13:10~14:10				
	14:20~15:50				
1/7(木)	9:30~10:30	9-4	生活と家事	5	寺田 清美 (佐倉市社会福祉協議会)
	10:40~12:10				
	13:10~14:10				
	14:20~15:50				
1/13(水)	9:30~10:30	9-7	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(1)	5	村本 二郎 (特別養護老人ホームさくらの丘)
	10:40~12:10				
	13:10~14:10				
	14:20~15:50				
1/14(木)	9:00~10:30	9-7	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(2)	6	石田 俊之 (特別養護老人ホーム 志津ユウカリ苑)
	10:40~12:10				
	13:10~14:40				
	14:50~16:20				
1/19(火)	9:00~10:30	9-5	快適な居住環境整備と介護	3	田中康之 (千葉県リハビリテーションセンター)
	10:40~12:10				
1/21(木)	9:30~10:30	9-6	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	乙武 陽 (特別養護老人ホームちとせ小町)
	10:40~12:10				
	13:10~14:10				
	14:20~15:50				
1/26(火)	9:30~10:30	9-8	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	安宅 香織 (特別養護老人ホーム 佐倉白翠園)
	10:40~12:10				
	13:10~14:10				
	14:20~15:50				
1/28(木)	9:30~10:30	9-9	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	飯塚 純子 (特別養護老人ホーム さくら苑)
	10:40~12:10				
	13:10~14:10				
	14:20~15:50				
2/2(火)	9:30~10:30	9-10	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	梶 直芳 (特別養護老人ホーム はちす苑)
	10:40~12:10				
	13:10~14:10				
	14:20~15:50				
2/9(火)	9:00~10:30	9-11	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護について	4.5	小山 美紀 (特別養護老人ホーム ときわの杜)
	10:40~12:10				
	13:10~14:40				
	14:50~16:20	9-12	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	1.5	宍戸 智子 (宍戸内科医院)
2/16(火)	9:00~10:00	9-13	介護課程の基礎的理解	2	高梨子 淳一 (佐倉市南部地域包括支援センター)
	10:10~11:10				
	11:20~12:20	9-14	総合生活支援技術演習	4	
	13:20~14:50				
2/18(木)	9:00~10:30	9-14	総合生活支援技術演習	6	高梨子 淳一 (佐倉市南部地域包括支援センター)
	10:40~12:10				
	13:10~14:40				
	14:50~16:20				
2/25(木)	9:00~10:00	10-1	振り返り	2	釧地 平子 (成田国際専門学校講師)
	10:10~11:10	10-2	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	
	11:20~12:20				
	13:20~14:20				
	14:30~15:30		効果測定	1	
3/2(火)	14:00~15:30		補習及び効果測定		釧地 平子 (成田国際専門学校講師)
3/4(木)	10:00~12:00		閉講式(修了証書授与等) 市内社会福祉施設就職説明会		

佐倉市社会福祉センター
地下研修室

授業時間数 123

※上記以外に市内社会福祉施設で実習を1日(8時間)実施

ク 高齢者見守り事業

実施内容

単身世帯や要介護状態にある高齢者が増加している中で、急病時や消費者被害、孤独死の不安等を解消し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの構築を推進していくことが求められている。このことから、佐倉市から令和2年度佐倉市高齢者見守り活動推進事業を受託し、地域包括ケアシステムの構築に必要となる「見守り」の強化について、市民・事業者・行政が連携して見守りネットワーク体制の基盤を強化するため、地域の特性や生活課題を踏まえ、様々な地域資源と協働する等の視点により、事業を実施した。

(ア) 見守り協力事業者との連携強化

佐倉市高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業情報交換会の開催並びにアンケート調査

佐倉市高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業における協力事業者に日頃の業務における見守り活動の現状と見守り活動における課題などについてアンケート調査を実施、そのアンケート調査を基に、見守り協力事業者、消費生活センター、地域包括支援センターの日頃の業務において見守りを行っている事業者に20団体に参加いただき、見守りに関する情報交換会を開催したなお、コロナ禍での予防を考慮しWEB会議形式で行った。

	佐倉市高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業者アンケート調査
対象	佐倉市高齢者見守り協力事業者(47事業者)
内容	1. 見守り活動の現状と課題について 2. 高齢者の異変を把握した時の対応について 3. これからの見守り活動に必要なことについて

	佐倉市高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業者情報交換会
日時	令和2年11月26日 13時30分～15時
参加数	20団体
内容	1. 見守り活動の現状と課題について 2. 高齢者の異変を把握した時の対応について 3. これからの見守り活動に必要なことについて

(イ) 事業者向けの見守り対応マニュアルの作成

情報交換会等で得た事例を交え、協力事業者が高齢者の異変を察知した時の対応マニュアルを作成した。

(ウ) 地域における緩やかな見守りの啓発・協力

近所に暮らす高齢者の様子がいつもと違うなど、日常生活の変化に気がついた際に、どこに連絡をしたらよいのか、また、求める情報を誘導するような内容を記載した「気づいて つないで 見守って」ご近所見守りチェックリストを作成1万部印刷し、地区社協、自治会、地域包括支援センター、市内公共施設等関係機関に配布した。

(エ) 住民による「緩やかな見守り」体制の調査・検討

佐倉市民生・児童委員に民生委員活動における見守り活動の状況調査を実施し、調査結果を基に、地域による緩やかな見守り体制検討委員会を設置し、地域による緩やかな見守り体制の必要性とそのあり方について検討した。

	民生委員活動における見守り活動の状況調査
対象	佐倉市民生・児童委員
配布数	209
回収数	148(回収率70.8%)

<地域による緩やかな見守り体制検討委員会>

回	日時	場所	内容
1	令和3年1月28日	WEB及び参集による会議	1. 地域による緩やかな見守り体制の必要性について 2. 地域による緩やかな見守り体制のあり方について
2	令和3年2月5日	WEB及び参集による会議	1. 地域の見守り活動の現状 2. 新しい見守り体制の必要性について
3	令和3年2月15日	WEB及び参集による会議	地域による緩やかな見守り体制づくりにむけて

(オ) 視察

地域による見守り体制づくりに先進的取り組みに学ぶため、白井市と船橋市へ視察を行いヒアリング及び意見交換を行った。

視察先	白井市地域包括支援センター
日時	令和2年8月21日

視察先	船橋市社会福祉協議会
日時	令和2年9月23日

(9)基金

実施内容

自主財源の確保を目的として、福祉基金を設置し、趣旨に賛同して寄せられた寄附金により、資金造成を行っている。運用に関しては、定期預金は期間を1年、2年、5年に分散しての預入れ、債券は30年の公債を保有し、各事業実施のため福祉基金の取り崩し及び基金から生ずる利息の確保に努めた。

菊地久治勉学奨励基金、元気に育て子ども基金、稲垣成こ勉学奨励基金は取り崩して、奨学福祉事業、生活困窮世帯子ども支援事業、終末ケア・終活支援事業の各事業費に充てた。

ア 福祉基金

基金総積立額	171,570,139円	
令和2年度寄附金額	119,581円	
配分額	14,483,632円	
内 訳	法人運営	12,908,632円
	地域福祉ネットワーク	1,575,000円
	ボランティア活動促進	0円

イ 菊地久治勉学奨励基金

基金総積立額	125,061,732円	
勉学奨励金配分額	3,354,480円	
内 訳	勉学奨励奨学金として	3,054,480円
	勉学奨励一時金として	300,000円

ウ 元気に育て子ども基金

基金総積立額	16,058,938円	
令和2年度寄附金額	180,000円	
子ども支援金配分額	999,663円	

エ 稲垣成こ勉学奨励基金

基金総積立額	17,316,805円	
令和2年度積立金額	72,600円	

(10) 共同募金配分事業

ア 歳末たすけあい運動

実施内容

経済的に支援が必要な在宅生活者が明るい正月を迎えられよう、支援金を贈るとともに、佐倉市内で生活に困窮する方を年間を通じて支援する活動団体への助成金による支援のため、「歳末たすけあい募金配分内容検討委員会」において、コロナ禍のため書面会議により検討・協議を経て、配分額等を決定した。対象者の確認、支援金の配分は、民生委員・児童委員協議会の協力で実施し、歳末たすけあい助成金を募集し、地域配分を行った。

(ア) 歳末たすけあい募金配分内容検討委員会

回数	開催日	会場	内容
第1回	5月 書面会議	書面会議	<報告事項> ・令和元年度歳末たすけあい募金・配分実績について ・令和2年度歳末たすけあい募金配分計画について <協議事項> ・令和2年度歳末たすけあい助成金申請団体の対象団体の選考

(イ) 民生委員・児童委員協議会での歳末たすけあい運動の協力依頼

	理事会	単位地区定例会
9月	配分対象者の確認(調査)依頼	同左
10月	配分対象者の確認(調査)台帳回収	同左
11月	配分対象者「確認表」と「在宅支援金」交付・「受領簿」の配布	同左
12月	在宅支援金「受領簿」回収と戻入金受付・不在者引継ぎ対応	同左
3月	歳末たすけあい運動事業報告	※理事会のみ開催 単位民児協は送付資料で報告

(ウ) 在宅支援金の配分実績

(単位:円)

区分	種別	対象世帯数	金額	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
				対象世帯数	金額	対象世帯数	金額	対象世帯数	金額
要保護世帯	一般低所得世帯	単身	10,000	13	130,000	15	150,000	15	150,000
		家族あり	12,000	18	216,000	12	144,000	15	180,000
		家族(子あり)	14,000	112	1,568,000	108	1,512,000	115	1,610,000
	母子・父子世帯	子1人	12,000	143	1,716,000	134	1,608,000	144	1,728,000
		子2人以上	15,000	205	3,075,000	214	3,210,000	223	3,345,000
	ひとり暮らし高齢者世帯		10,000	166	1,660,000	158	1,580,000	170	1,700,000
	ねたきり高齢者世帯	単身	10,000	0	0	0	0	0	0
		家族あり	12,000	3	36,000	3	36,000	3	36,000
	心身障がい児・者世帯	単身	10,000	6	60,000	7	70,000	7	70,000
		家族あり	12,000	13	156,000	16	192,000	17	204,000
	罹災世帯	単身	10,000	0	0	1	10,000	0	0
		家族あり	12,000	0	0	0	0	0	0
	合計				679	8,617,000	668	8,512,000	709

(エ) 歳末たすけあい募金助成金

通年事業	内 訳	金 額
年間を通しての生活困窮者等への活動助成金	50,000円×17団体	850,000円
	31,350円×1団体	31,350円
	30,000円×1団体	30,000円
	合計 19団体	911,350円

(オ) 配分合計

在 宅 支 援 金	679世帯	8,617,000
年間を通しての生活困窮者等への活動助成金	19団体	911,350
事 務 費		262,078
配 分 合 計	698世帯・団体	9,790,428

(カ) 募金実績

歳末たすけあい募金目標額	11,275,000円
歳末たすけあい募金実績額	8,509,696円

(キ) 次年度への繰越金

令和元年度末繰越金	9,288,404円
令和2年度募金実績	8,977,941円
令和2年度配分実績	9,790,428円
次年度への繰越金	8,475,917円

イ 児童福祉事業

(ア) 交通遺児見舞金・勉学奨励金・激励金・図書カードの交付

実施内容

陸上交通事故により父親または母親を失った18歳未満の交通遺児(世帯)を対象世帯とし、調査を行い該当する世帯に対し担当地区民生委員の協力を得て見舞金、勉学奨励金・激励金の交付を行い交通遺児世帯の激励を行った。	
交通遺児該当世帯	なし
見舞金 交付金額	なし
勉学奨励金 交付金額	なし
激励金 交付金額	120,000円

(11) 共同募金事業への協力

実施内容

共同募金事業について、市民の理解を求めるとともに、たすけあい精神を高め、市民の善意を結集した募金運動を千葉県共同募金会佐倉市支会と協力して行う。募金活動は、10月1日から、各自治会・町会・区の協力による戸別募金、法人・学校・職域・イベント等で実施する。駅頭や大型店舗等において、ボランティアグループ及び個人・地区社協・学校等の協力による街頭募金はコロナ禍のため中止。

ア 赤い羽根募金

募金目標額 13,840,000円 募金実績額 13,734,116円

イ 歳末たすけあい募金

募金目標額 11,275,000円 募金実績額 8,977,941円

ウ 災害義援金

令和2年7月豪雨災害義援金

令和2年7月13日(月)～令和3年3月31日(水)

エ 資材発送

9月に地区代表者に対して協力依頼とともに赤い羽根募金資材を発送する作業に協力した。また、歳末たすけあい募金資材については、11月の資材発送作業に協力した。

オ 赤い羽根共同募金説明会

5月に自治会あてに送付した資料にて共同募金運動についての説明、自治会への協力依頼を行った。説明会はコロナ禍のため中止。

開催日時	会場	対象者
	中止	社協説明会(佐倉地区)
	中止	社協説明会(根郷・和田・弥富地区)
	中止	社協説明会(志津地区)
	中止	社協説明会(臼井・千代田地区)

カ 共同募金しおりづくり

コロナ禍のため中止

キ 佐倉市オリジナル回覧作成

共同募金運動をすすめる上で、佐倉市内で寄せられた募金がどのように活用されているのかを、その流れとともに昨年の実績を綴った佐倉市オリジナルの回覧物を6,000枚作成し、自治会・町内会等へ配布した。また、学校、法人・団体へも協力依頼とともに配布を行った。

ク 佐倉市オリジナルDVDの活用

地区代表者からの要望を受け、赤い羽根共同募金の佐倉市内での使われ方をわかりやすく説明するために、平成23年度からオリジナルDVDを作成し、赤い羽根共同募金の周知や講座、街頭募金ボランティア説明会等で活用している。今年度も広報啓発に利用を予定していたが説明会は中止。

(12) 居宅介護

ア 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、身体障がい者(児)、知的障がい者(児)、精神障がい者にホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。*令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、同行援護サービス利用者の外出の機会が少なくなったため、利用回数が減となった。

活動実績(地域生活支援事業、生活サポート事業、同行援護事業を含む)

月	利用者数(人)			活動回数(回)		
	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度
4月	56	71	75	448	546	540
5月	52	68	70	397	566	548
6月	58	75	71	452	550	517
7月	59	70	66	460	599	506
8月	53	66	64	350	563	521
9月	52	68	65	390	546	474
10月	58	68	72	406	572	545
11月	56	69	68	383	610	517
12月	59	67	70	369	581	489
1月	48	72	69	309	578	477
2月	47	69	72	310	562	497
3月	51	64	56	368	575	501
合計	649	827	818	4,642	6,848	6,132
月平均	54	69	68	387	571	511

イ 訪問介護員派遣事業

公的制度に該当しない介護又は支援を必要とする高齢者、障がい者、児童等の家庭に訪問介護員を派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を行った。*令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、遠方の家族が対応できない通院介助などの急な依頼や、薬取りなどの依頼があった。

活動実績

月	利用者数(人)			活動回数(回)		
	令和2年	令和元年	30年度	令和2年	令和元年	30年度
4月	2	5	8	2	17	28
5月	2	4	8	2	15	26
6月	4	4	6	4	13	23
7月	6	3	6	6	16	24
8月	7	4	7	7	16	27
9月	3	3	6	3	15	19
10月	5	6	7	5	31	25
11月	6	4	7	6	13	24
12月	7	4	7	7	9	26
1月	5	5	7	5	11	21
2月	3	3	6	3	6	22
3月	4	2	4	6	12	15
合計	54	47	79	56	174	280
月平均	5	4	7	5	15	23

ウ 相談支援事業

指定計画相談支援			指定障害児童相談			
利用者数(人)						
月	令和2年	令和元年	30年度	令和2年	令和元年	30年度
4月	4	4	4		0	0
5月	4	4	3		0	0
6月	2	1	2		0	0
7月	2	2	4		2	2
8月	4	4	0		0	0
9月	1	0	10		0	0
10月	4	9	6		0	0
11月	4	5	0		0	0
12月	1	1	3		0	0
1月	1	3	2		0	0
2月	2	0	5		0	0
3月	4	5	4		0	0
合計	33	38	43	0	2	2
月平均	2.8	3.2	3.6	0.0	0.2	0.2

(13) 介護保険

ア 訪問介護事業

介護保険制度に基づく訪問介護事業を適正に実施するとともに、質の高い介護サービスを提供するため人材育成等を行った。尚、令和2年度は、人員体制が3.5人から2.5人に減ったが、実績は高く維持できた。

(ア) 訪問介護活動実績

月	利用者数(人)			活動回数(回)		
	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度
4月	18	24	28	144	232	255
5月	18	21	9	171	214	261
6月	17	21	16	190	209	239
7月	20	20	23	212	223	240
8月	21	20	24	206	223	220
9月	24	21	22	255	220	211
10月	24	20	22	258	199	238
11月	23	19	23	247	159	242
12月	23	17	26	214	141	282
1月	22	17	24	190	137	243
2月	23	17	24	199	142	220
3月	19	18	24	205	156	243
合計	252	235	265	2491	2,255	2,895
月平均	21.0	19.6	22.1	207.6	187.9	241.3

(イ) 総合事業活動実績

月	利用者数(人)			活動回数(回)		
	2年度	元年度	30年度	2年度	元年度	30年度
4月	21	27	32	129	168	187
5月	21	28	32	128	177	194
6月	23	28	30	145	162	180
7月	25	30	30	167	185	178
8月	25	30	29	150	185	187
9月	24	29	29	137	168	162
10月	23	26	28	143	160	182
11月	25	28	27	134	160	173
12月	24	27	27	147	155	165
1月	24	28	26	143	146	164
2月	24	27	27	138	151	158
3月	25	22	27	167	136	168
合計	284	344	238	1728	1953	2098
月平均	23.6667	27.5	28.6667	144	162.75	174.833

介護度別利用者内訳

要介護状態区分	利用者数(名)		
	令和3年3月	令和2年3月	平成31年3月
事業対象者	2	3	3
要支援1	9	8	11
要支援2	15	11	13
要介護1	7	8	13
要介護2	7	7	4
要介護3	3	1	5
要介護4	2	2	2
要介護5	0	0	1
合計	45	40	52

(エ) 訪問介護員

a 訪問介護員登録人数 3月31日在籍者数

令和2年度	32名
令和元年度	35名(同行援護従事者3名含む)
平成30年度	38名(同行援護従事者5名含む)

b 訪問介護員会議・研修

会議・研修	開催日	内 容	参加者
全体会	4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (書類送付で対応)	35
研修会	7月12日(日)	「アドバンス・ケア・プランニング」(午前)	16
研修会	7月12日(日)	「アドバンス・ケア・プランニング」(午後)	18
研修会	11月15日(日)	「認知症のある方の支援とヘルパーさん!!」	32
研修会	2月	「初心者もベテランも見直そう!ヘルパーの基本的 心得」 新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止 (レポート提出で対応)	31
合計			132

イ 居宅介護支援事業

令和2年4月に人員体制が3.5人から2.5人に代わった。コロナ過において利用を控える方もおられ予想の付かない年となった。要介護4と5の人は入所される方が多く、在宅の利用者は減る傾向にあり、要介護3の人に関しては入所待ちをしている方が多い。認定調査に関してはコロナ過で、延長申請の希望者が多く、佐倉市への申請件数が少なかったため、委託されない状況が続いている。

	令和2年度	令和元年度	30年度
4月	67人	77人	70人
5月	67人	75人	25人
6月	67人	76人	28人
7月	64人	76人	9人
8月	66人	71人	16人
9月	71人	79人	68人
10月	71人	79人	71人
11月	71人	78人	71人
12月	70人	77人	73人
1月	71人	76人	71人
2月	68人	75人	70人
3月	68人	75人	71人
合計	821人	914人	643人
月平均	68人	76人	54人

介護予防支援業務活動実績

	令和2年度	令和元年度	30年度
4月	26人	43人	34人
5月	28人	45人	34人
6月	28人	51人	34人
7月	28人	52人	33人
8月	27人	52人	33人
9月	29人	50人	35人
10月	31人	50人	37人
11月	31人	47人	38人
12月	31人	47人	40人
1月	30人	48人	40人
2月	30人	43人	40人
3月	32人	41人	41人
合計	351人	569人	439人
月平均	29人	47人	37人

介護度別利用者内訳

要介護状態区分	令和2年度	令和元年度	30年度
事業対象者	2人	2人	1人
要支援1	11人	12人	17人
要支援2	19人	27人	24人
要介護1	26人	23人	18人
要介護2	17人	29人	25人
要介護3	18人	12人	15人
要介護4	6人	7人	8人
要介護5	1人	4人	5人
合計	100人	116人	113人

要介護・要支援認定調査業務活動実績

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
4月	0件	6件	0件
5月	0件	8件	0件
6月	0件	6件	0件
7月	0件	7件	2件
8月	0件	6件	4件
9月	1件	8件	2件
10月	0件	7件	0件
11月	0件	7件	1件
12月	0件	6件	4件
1月	0件	3件	5件
2月	0件	6件	7件
3月	0件	7件	5件
合計	1件	77件	70件
月平均	件	6件	5件

2 公益事業

(1) 指定管理事業

ア 西部地域福祉センターの管理運営

実施内容

佐倉市との間で締結した佐倉市西部地域福祉センターの管理に関する協定書に基づき、(指定期間：平成31年度から令和5年度まで)適切な管理運営業務を実施した。地域住民が地域福祉活動を推進する施設として、その場と機会を提供するとともに福祉活動の拠点として、志津、志津南、ユーカーが丘及び西志津地区社協の事務局を設置している。また、ボランティアセンター、研修、相談等の施設を確保し、ボランティアセンター機能の充実を図ることにより地域福祉の増進に努めた。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、4月1日以降6月7日までの約2ヶ月間、ならびに1月23日から3月22日までの2ヶ月間の合計4ヶ月が休所となった。風呂については、4月1日以降7月末日までの4ヶ月間、ならびに1月23日から3月22日までの2ヶ月間の合計6ヶ月が利用休止となった。また、企画事業についてはコロナ感染拡大防止の観点から殆どの実施を取りやめた。今年度は年間を通じてコロナ禍の状況が続いたため、施設利用者数が大幅に減少する結果となった。

(ア) 利用状況

人員配置:センター長1人、福祉活動専門員1人、管理員7人

室名	2年度		元年度		30年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室	537	19,215	1,286	29,940	1,534	30,204
研修室	253	3,746	444	18,021	499	6,749
娯楽室	—	8,692	—	8,692	—	10,753
和室	—	231	—	1,272	—	1,061
浴室(男)	—	1,446	—	6,294	—	7,556
浴室(女)	—	675	—	2,479	—	3,358
浴室(計)		2,121		8,773		10,914

(イ) 相談事業

弁護士による無料法律相談

日時	10月13日(火)、12月8日(火)、令和3年3月9日(火) 午前10時～午後3時
会場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	10月13日 4人、12月8日 2人、令和3年3月9日 2人
内容	千葉県弁護士会所属の弁護士2名(午前・午後各1名)により、相談時間30分を限度に事前申込制の先着順受付として、法律上の専門相談を無料にて実施した。

知的障がい児(者)支援相談

日時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会場	西部地域福祉センター 相談室
相談者数	

相続・遺言・成年後見講演&相談会

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室 相談室
参加者数	
内 容	公益財団法人家庭問題情報センター千葉ファミリー相談室の協力を得て、相続・遺言・成年後見について学ぶ講演会・相談会を開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

(ウ)高齢者交流事業

笑いヨガ・ミュージック

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	主に高齢者を対象として、心身の健康増進及び認知症予防に効果のある「笑い」とミュージックを組み合わせた事業を実施した。ボランティアグループ「笑いヨガ・ミュージック」を講師として、笑って歌える歌20曲以上を準備し、参加者全員で合唱を行った。歌に合わせて簡単な楽器を使用したり拍手を交えたりして、参加者が楽しく元気に過ごせる場として年6回開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

自力整体

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	高齢者等が、医療や介護を必要とせずできるだけ長く健康で生活していくために、「秋田美智子」氏を講師として、自分のペースにより自分の体重を活かして、自分の体を整体することにより健康増進を図る事業として、参加料を無料として年5回開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

コミュニティカフェ・憩え場

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 研修室
参加者数	
内 容	高齢者支援グループ「長いすの会」の協力を得て、高齢者の交流が希薄になりつつある社会の課題に対応するため、ギター演奏の元で合唱を楽しみ、気軽に茶菓を共にして語り合える機会であるが、コロナ禍のため中止した。

介護予防講座

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター会議室
参加者数	
内 容	志津南部包括支援センターの協力を得て、運動療法士の指導により高齢者が自分の健康について意識し、日常生活で行うことができる能力トレーニングを習得する事業として予定していたが、コロナ禍のため中止した。

生活安全セミナー

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	高齢者に起こりうる交通事故や消費生活などのトラブルを未然に防止するための講座を開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

(エ)子育て支援事業

親子で楽しむ「モノづくり体験」教室

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	佐倉市シルバー人材センターの協力を得て、児童等とその親を対象としてモノづくり体験教室を実施し、児童幼児の健全育成及びその親世代の交流の場として開催予定であったが、コロナ禍のため中止した。

子どものまち・ちびさくら

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	NPO法人「子どものまち」の協力を得て、幼児と親を対象として、幼児が買物をできるまちを設定し、買う側と売る側に分かれて楽しむことにより、子育て支援の推進に取り組む事業を開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

(オ)ボランティアセンター運営事業

夏休みボランティア入門講座「みんなで手話を学ぼう」

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	小学生とその親を対象に、「佐倉市ろう者協会」と「手話サークル希望」の協力を得て、ボランティア活動に必要な基礎的知識を理解し、聴覚障がい者に必要な手話を学び、ボランティア活動へ参加するきっかけづくりの場として開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

(カ)その他事業

定期利用団体との懇談会

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 会議室
参加者数	
内 容	地域福祉センターの管理運営に関しては、運営委員会又は審議会等が設置されていないことから、利用者の意見や要望を聴く機会を設けるため、定期的に会議室等を利用している団体の代表者との懇談会を開催する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

生活支援案内業務

日 時	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	西部地域福祉センター 談話コーナー
支援者数	
内 容	行政機関や社会福祉協議会が実施している相談業務について、どの相談を利用すればよいのか判断できない方のために、佐倉市シルバー人材センターの協力を得て、各種の相談に向けた案内業務を実施する予定であったが、コロナ禍のため中止した。

3 収益事業

(1) 福祉売店の経営

「さくら斎場」利用者の利便を図り、本会福祉活動資金を確保するため、斎場内に福祉売店を設置し、飲物、菓子つまみ類の販売を行った。尚、さくら斎場福祉売店事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収益が大幅に減少し、さらに葬儀の簡素化で今後も赤字運営が見込まれることから、今年度末で事業を終了した。

販売品目	ビール、酒、ノンアルコールビール、ジュース、菓子・つまみ類、たばこ、雑貨類
取次品目	貸布団
スタッフ	販売員4名

(2) 手数料の収入

ア 自動販売機の設置

設置台数	15台
金額	1, 591, 482円

設置場所	設置台数	設置場所	設置台数
西部保健福祉センター	3	佐倉市民体育館	2
レインボープラザ佐倉	1	根郷公民館	1
さくら斎場	2	社会福祉センター	6

過去3カ年の比較

年度	設置台数	金額
令和2年度	15台	1, 591, 482円
令和元年度	15台	2, 018, 890円
平成30年度	15台	2, 105, 921円

イ 広告掲載料、利用料

社協さくら広告掲載料、ホームページ有料広告、コピー機・印刷機利用料収入により、社会福祉事業の資金造成を行った。社協さくら・ホームページ広告掲載については、本会の法人会員へ勧誘を行った。

売上金等種類	社協さくらへの広告掲載料、ホームページの有料広告、コピー機・印刷機利用料
金額	347, 391円

過去3カ年の比較

年度	金額
令和2年度	347, 391円
令和元年度	409, 924円
平成30年度	349, 954円

(3)収益事業損益計算

	令和2年度	令和元年度	平成30年度
① 事業収入(売上金等)	8,908,807円	18,975,381円	21,049,957円
② 事業原価(仕入費等)	3,455,650円	8,801,326円	9,498,785円
③ 事業総利益=①-②	5,453,157円	10,174,055円	11,551,172円
④ 事業費用(人件費、事務費、事業費)	6,886,475円	10,193,630円	10,324,083円
⑤ 事業利益=③-④	△1,433,318円	△19,575円	1,227,089円
⑥ 事業外収入	0円	0円	0円
⑦ 事業外費用(社福会計繰出金)	0円	0円	0円
⑧ 経常利益=⑤+⑥-⑦	△1,433,318円	△19,575円	1,227,089円
⑨ 特別収入	0円	0円	0円
⑩ 特別支出	207,048円	0円	0円
⑪ 税引前当期利益=⑧+⑨-⑩	△1,640,366円	△19,575円	1,227,089円

役員

【理事】

会長	長谷川大美				
副会長	兼坂 誠				
副会長	杉山 功				
理事	宇田川光三	寺田 純子	小林眞智子	川根 紀夫	
	深沢 孝志 (業務執行理事)				

【監事】

西原 弘明	小池八重子
-------	-------

【顧問】

山下興一郎

評議員

池 克志	伊藤 澄子	稲村多恵子	内川 浩明	上出 和子
小長井博子	塚田 雅二	土屋 志郎	湯川 芳朗	

(令和3年3月31日現在)

監査報告書

令和3年5月19日

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会
会長 長谷川 大美 様

監事 西原 弘明 

私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの、令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び職員等との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

令和3年 5月 19日

社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会
会 長 長谷川 大美 様

監 事 小池八重子  印

私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの、令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び職員等との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。